

令和元年 7 月 3 / 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 音楽(一般)

代表者 蒲刈中 学校

氏名 二宮肇美

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【音楽（一般）】

|    |                    |
|----|--------------------|
| 観点 | 基礎・基本の定着           |
| 視点 | ① 題材の目標の示し方        |
| 方法 | 目標の示し方及び目標達成のための支援 |

|          |  |                                      |       |
|----------|--|--------------------------------------|-------|
| 発行者      | 調査・研究内容  |                                      |       |
| 教出       | 【目標の示し方及び目標達成のための支援】   |                                      |       |
|          | ○ 目次における示し方<br>3学年共通で、3つの柱が示されており、この3つの柱に沿って楽曲名が表記されている。縦書きでマークとともに示されている。   |                                      |       |
|          | 《3つの柱の記載》  |                                      |       |
|          | 音楽の要素を捉えながら（青）   |                                      |       |
|          | さまざまな音楽文化 ―日本とアジア―（1）  |                                      |       |
|          | ―日本と世界―（2・3上下）（ピンク）  |                                      |       |
|          | 歌い合わせ聴き深める喜び（緑）  |                                      |       |
|          | ○ 楽曲ごとの示し方<br>紙面の左側曲名の下に縦書き2行で示している。<br>左側（1行）は、目標を大きく捉えて示している。<br>右側（1行）は、〔共通事項〕に着目させ、目標を達成させるためにどのようにすればよいかを具体的に示している。 |                                      |       |
|          | 《記載例》  |                                      |       |
|          | 教科書  | 左側の1行                                | 右側の1行 |
| 1        | 言葉の発音を意識して、ふさわしい声で歌おう。   | 旋律のまとまりを感じ取り、拍子や強弱を意識して歌おう。          | P. 14 |
|          | 身近な言葉のリズムを感じ取り、それを生かして簡単なリズム曲をつくろう。  | 速度の設定やパートの分け方を工夫し、表現を楽しもう。           | P. 52 |
| 2・3<br>上 | 歌詞の内容を味わい、形式を理解して表現を工夫しよう。   | 拍子や速度、強弱の変化などから曲想を感じ取って歌おう。          | P. 14 |
|          | 歌舞伎の音楽の特徴や役割を理解して鑑賞しよう。  | 物語の内容を理解し、音楽と舞台の関わりによる表現を味わおう。       | P. 34 |
| 2・3<br>下 | 歌詞の内容を味わい、曲想の変化を感じ取って表現を工夫しよう。   | 声部の役割や、速度や強弱の変化を生かして合わせて歌おう。         | P. 22 |
|          | 音楽の背景となる文化・歴史や、音楽と舞台との関わりを理解して鑑賞しよう。   | 声の音色（おんしよく）やテクスチャなどから音楽の特徴を聴き取ってみよう。 | P. 32 |

【目標の示し方及び目標達成のための支援】

○ 目次における示し方

- ・ 黒字で示された楽曲名の左上に、薄い色付き文字で「～しよう。」と題材の目標が表記されている。

《記載例》

| 教科書      | 題材の目標                       |
|----------|-----------------------------|
| 1        | 拍の流れにのって明るい声で歌おう。           |
|          | ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。     |
| 2・3<br>上 | 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。      |
|          | 曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。        |
| 2・3<br>下 | ア カペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。 |
|          | 日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。—雅楽—  |

○ 楽曲ごとの示し方

紙面左上の曲名の上に、淡い色付き文字で題材の目標を示している（横書き）。

曲名のすぐ下に、黒字で、[共通事項]に着目させ、目標を達成させるためにどのようにすればよいかの支援を具体的に示している。

教芸

| 教科書      | 題材の目標                        | 支援  | 頁     |
|----------|------------------------------|---|-------|
| 1        | 3拍子やフレーズを感じ取って歌おう。           | 拍の流れにのって、旋律のまとまりを感じ取りながら歌いましょう。                                     | P. 13 |
|          | イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくろう。     | 3～4人のグループに分かれて、イメージに合う場面を考え、いろいろな音を使って音楽で表しましょう。                    | P. 30 |
| 2・3<br>上 | 歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。 | AとBの響きの違いや曲想の変化を感じ取って、歌い方を工夫しましょう。                                  | P. 4  |
|          | 声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。            | 模範演奏をよく聴き、声の音色や節回しの特徴を感じ取りましょう。<br>旋律を少しずつ区切って(①～④)、模範演奏をまねて唄いましょう。 | P. 44 |
| 2・3<br>下 | 曲想を生かして表情豊かに歌おう。             | 調の変化を感じ取って、速度や強弱に気をつけながら歌いましょう。                                     | P. 16 |
|          | 世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。        | 楽器の音色やリズム、速度、旋律などに注目して聴きましょう。                                       | P. 44 |

【使用実績に関すること】

題材の目標が明記されていることで、生徒に題材の到達目標を示したり、本時の目標を把握させたりすることができた。

【音楽（一般）】

|    |                       |
|----|-----------------------|
| 観点 | 基礎・基本の定着              |
| 視点 | ②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫  |
| 方法 | 我が国の伝統的な歌唱及び歌唱共通教材の扱い |

|          |   |   |  |                          |
|----------|---|---|--|--------------------------|
| 発行者      | 調査・研究内容   |   |  |                          |
| 教出       | 【我が国の伝統的な歌唱】  |   |  |                          |
|          | 教科書   | 曲名  | 扱い方  |                          |
|          | 1   | ソーラン節<br>かりぼし切り歌  | 鑑賞+歌唱<br>2曲を聴き比べ、拍節的なリズムと非拍節的なリズムから成る節の特徴をつかませ歌う。          | 主な記載資料等<br>写真、民謡譜例、民謡の特徴 |
|          | 2・3<br>上  | こきりこ節   | Let's Try!で、調べ学習と連動できる扱い。                                  | 写真、こきりこの打ち方の写真           |
|          | 2・3<br>下  | 能「羽衣」キリから   | 鑑賞+歌唱<br>鑑賞した後、Let's Try!で歌ってみようになっている。                    | 写真、譜例<br>説明、あらすじ         |
|          | ○ 伝統的な歌唱と鑑賞を組み合わせることにより、拍節的な民謡と非拍節的な民謡を聴き比べ、その特徴を感じ取らせたり、日本的な音の動きや打楽器のリズムを意識させて、謡の部分と他の楽器等の全体的な動きが分かる譜例等を使ったりして歌唱できるようになっている。 |   |  |                          |
|          | 【歌唱共通教材の扱い】   |   |  |                          |
|          | ① ページ数  |   |  |                          |
|          | 教科書   | 曲名  | 扱い方や工夫   |                          |
|          | 1   | 夏の思い出   | ・見開き4ページ (P16, 17 歌詞, 写真, 経歴, メッセージ P18, 19 楽譜 (伴奏譜付) と写真) |                          |
|          | 赤とんぼ  | ・見開き2ページ (P20 歌詞, 写真, 経歴, メッセージ P21 楽譜 (伴奏譜付), 写真)  |  |                          |
| 2・3<br>上 | 浜辺の歌  | ・見開き4ページ (P12, 13 歌詞, 写真, 経歴, メッセージ P14, 15 楽譜 (伴奏譜付) と写真)  |  |                          |
|          | 花の街   | ・見開き2ページ (P16, 17 歌詞, 写真, 経歴, メッセージ, 楽譜 (旋律譜))  |  |                          |
|          | 早春賦   | ・見開き2ページ (P18, 19 歌詞, 写真, 経歴, メッセージ, 楽譜 (旋律譜))  |  |                          |
| 2・3<br>下 | 花   | ・見開き6ページ (P4, 5 歌詞, 写真, 経歴, P6~9 楽譜 (伴奏譜付) と写真)   |  |                          |
|          | 荒城の月  | ・見開き2ページ (P14, 15 歌詞, 写真, 経歴, メッセージ, 楽譜 (旋律譜))<br>・Let's Try! (P17 楽譜【原曲, 山田耕筰 補作編曲】)<br>・歌のアルバム (P75 歌詞, 写真, 楽譜) |  |                          |

② 写真

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | ・作詞・作曲者, 水芭蕉, 石楠花, 浮き島, 尾瀬ヶ原, ニッコウキスゲ等の写真を大きく掲載している。<br>・日本地図の中に尾瀬ヶ原の位置と県名が示されている。 |
| 赤とんぼ  | ・作詞・作曲者, 赤とんぼ, 桑の実, アキアカネ (赤とんぼの一種)  |
| 浜辺の歌  | ・作詞, 作曲者, 神奈川県 辻堂海岸 (朝と夕方)   |
| 花の街   | ・作詞, 作曲者   |
| 早春賦   | ・長野県安曇野, 作詞, 作曲者   |
| 花     | ・東京都の隅田川, 明治時代の隅田川, 自筆の歌碑, 作詞・作曲者  |
| 荒城の月  | ・P14, 15 大分県 岡城跡, 福島県 鶴ヶ城, 宮城県 青葉城, 作詞者<br>・P75 土井晩翠の詩碑                            |

③ 作詞・作曲者の曲に対する記述 (メッセージや作者の言葉)

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | ・作詞者が群馬県片品の戸倉入口で見た水芭蕉の風景を200字程度で記述されている。<br>・作曲者の曲作りの思いについて100字弱で書かれている。 |
| 赤とんぼ  | ・作詞者の幼少時代の思い出を300字強で書かれている。  |
| 浜辺の歌  | ・作曲者が弟子に語った言葉を100字程度で書かれている。   |
| 花の街   | ・作曲者がこの曲の作曲を依頼された経緯や, この曲に対する人々の反応と作詞者の想いを, 400字程度で書かれている。               |
| 早春賦   | ・早春賦が生まれた背景を100字強で書かれている。  |
| 花     | ・記載なし  |
| 荒城の月  | ・作詞を依頼された経緯と荒城をイメージした3つの城について350字程度で書かれている。                              |

④ 作詞・作曲者の経歴

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | ・作詞者の名前, 生没年, 出身都道府県名, 卒業年代, 作品名について書かれている。<br>・作曲者の名前, 生没年, 出身都道府県名, 卒業年代, 作品名, 及び中田章 (父) との関係について書かれている。 |
| 赤とんぼ  | ・作詞・作曲者ともに, 生没年, 出身都道府県名, 卒業年代, 作品名について書かれている。   |
| 浜辺の歌  | ・作詞者の名前, 生没年, 出身都道府県名, 本名, 作品名について書かれている。<br>・作曲者の名前, 生没年, 出身都道府県名, 卒業年代等について書かれている。                       |

|      |  |
|------|--|
| 花の街  | ・作詞・作曲者ともに、生没年、出身都道府県名、卒業年代、作品名について書かれている。   |
| 早春賦  | ・作詞者の名前、生没年、出身都道府県名、出身学校、職歴等について書かれている。<br>・作曲者の名前、生没年、出身都道府県名、出身学校、職歴、中田喜直（息子）との関係について書かれている。 |
| 花    | ・作詞者の名前、生没年、出身都道府県名、本名、出身学校、卒業年代、職歴等について書かれている。<br>・作曲者の名前、生没年、出身都道府県名、作品名等について書かれている。         |
| 荒城の月 | ・作詞者の名前、生没年、出身都道府県名、本名、出身学校、職歴等について書かれている。   |

⑤ 歌唱方法と速さ

| 曲名    | 扱い方や工夫  |
|-------|---|
| 夏の思い出 | ・部分2部合唱で書かれている。(第4フレーズ後半のみ合唱となっている「はるかな尾瀬 遠い空」)<br>・速さは♩ = 63ぐらい と示されている。   |
| 赤とんぼ  | ・斉唱で書かれている。速さは♩ = 60ぐらい と示されている。  |
| 浜辺の歌  | ・斉唱で書かれている。速さは♩ = 108ぐらい 優美に と示されている。   |
| 花の街   | ・斉唱（伴奏譜なし）で書かれている。速さは Moderato と示されている。   |
| 早春賦   | ・斉唱（伴奏譜なし）で書かれている。速さは♩ = 116ぐらい と示されている。  |
| 花     | ・女声2部合唱で書かれている。速さは Allegro Moderato (♩ = 60ぐらい) 優美に と示されている。  |
| 荒城の月  | ・P14の楽譜は斉唱（伴奏譜なし）で書かれている。速さは Andante と示されている。<br>・P75の楽譜は斉唱（伴奏譜なし）で書かれている。速さは♩ = 63 Lento doloroso cantabile (ゆるやかに 悲しげに そして歌うように) と示されている。 |

⑥ 歌詞の解説やリズムのつき方の特徴

| 曲名    | 扱い方や工夫  |
|-------|---|
| 夏の思い出 | ・「尾瀬」「石楠花色」「浮き島」について解説している。<br>・2番の歌詞「におって」の部分が十六分音符4つで「におって」と歌うように表記されている。 |
| 赤とんぼ  | ・「負われて」について解説している。<br>・歌詞について、「作詞者のメッセージ」で説明されている。                          |
| 浜辺の歌  | ・「あした」「ゆうべ」「もとおれば」について解説している。   |
| 花の街   | ・記載なし   |
| 早春賦   | ・「時にあらず」「角ぐむ」「さては時ぞと」「あやにく」「知らであ  |

教出

|      |  |
|------|--|
|      | りしを」「急がるる」について解説している。  |
| 花    | ・「うらら」「櫛」「たとうべき」「見ずや」「あけぼの」「のべて」「錦おりなす」「くるれば」「おぼる月」「げに」「一刻も千金」について解説している。          |
| 荒城の月 | ・「高楼」「花の宴」「めぐる盃」「千代の松が枝 わけ出でし」「陣營」「植うるつるぎ」「照りそいし」「たがためぞ」「かずら」「天上影は」「榮枯」について解説している。 |

⑦ 調や記号, 共通事項

| 曲名    | 扱い方や工夫  |
|-------|---|
| 夏の思い出 | ・P19 右側に「p p」「三連符」「dim.」「フェルマータ」の記号と解説のページが示されている。          |
| 赤とんぼ  | ・記載なし   |
| 浜辺の歌  | ・P15 下に「拍子・形式」についてP84を参照することが示されている。                        |
| 花の街   | ・P16 左側にフレーズについて解説されている。                                    |
| 早春賦   | ・記載なし   |
| 花     | ・P7 下に付点十六分音符, 三十二分音符の記号が示され, P7 右側に十六分休符の記号と解説のページが示されている。 |
| 荒城の月  | ・P15 右側に「Andante」の記号と解説のページが示されている。                         |

教出

- 歌唱共通教材は、「日本の歌みんなの歌」と称して掲載されている。
- 各学年の最初の作品（1年「夏の思い出」、2・3年上「浜辺の歌」、2・3年下「花」）は4頁以上を使って、楽譜や曲、写真を示している。
- 歌詞に使われている言葉を細かく解説している。
- 見開き2頁か1頁で歌詞の情景に合う写真等を掲載し、その上に縦書きの歌詞が示されている。
- 作曲者、作詞者の写真や言葉もあり、「花の街」「早春賦」「荒城の月」は旋律譜のみ掲載されている。

| 【我が国の伝統的な歌唱】  |   |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
|---|---|---------------------------------|---|----|--------|-----------------|---|-------------|--|-------------|---|---------------|--|---------------|--|----------|---------------------------------------|----------------|--|----|--------|-------|---|
| 教科書   | 曲名  | 扱い方                             | 主な記載資料等   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 1   | ソーラン節   | 題材名「声や音楽の特徴を感じ取って歌おう。」<br>鑑賞+歌唱 | 写真, 絵譜, この曲を歌うときに気をつけること, ソーラン節の説明, Challenge!!       |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 2・3<br>上  | 長唄「勸進帳」から   |                                 | 写真, 絵譜, この部分を唄うときに気をつけること (座位の姿勢の絵付き), 長唄の楽譜の例, 長唄の説明 |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 2・3<br>下  | 雅楽 唱歌<br>能「羽衣」キリから  |                                 | 写真, 絵譜, この部分を謡うときに気をつけること (座位の姿勢の絵付き), 狂言の説明          |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| <p>○ 全学年「声や音楽の特徴を感じ取って歌おう (唄おう) (謡おう)」という題材で、伝統的な歌唱と鑑賞を組み合わせている。「模範演奏をよく聴き」や「模範演奏をまねて歌いましょう。」の支援の言葉と、絵譜、「この曲 (部分) を歌う (唄う) (謡う) ときに気をつけること」という独特の発音や発声の仕方や姿勢についての注意事項が掲載されている。</p>  |   |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| <p>教芸</p> <p>【歌唱共通教材の扱い】</p> <p>① ページ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>曲名</th> <th>扱い方や工夫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏の思い出<br/>(2・3上)</td> <td>・見開き2ページ<br/>(P12, 13 楽譜 (伴奏譜付), 歌詞, 写真, 経歴, 作曲者の言葉)</td> </tr> <tr> <td>赤とんぼ<br/>(1)</td> <td>・見開き2ページ<br/>(P24 楽譜 (伴奏譜付) P25 歌詞, 写真, 経歴, 作詞者の言葉)</td> </tr> <tr> <td>浜辺の歌<br/>(1)</td> <td>・見開き2ページ<br/>(P16, 17 楽譜 (伴奏譜付), 歌詞, 写真, 経歴, 作曲者の言葉)</td> </tr> <tr> <td>花の街<br/>(2・3下)</td> <td>・見開き3ページ<br/>(P12, 13 楽譜 (伴奏譜付), 写真, 経歴 P14 歌詞, 作詞者の言葉, 作曲者の言葉)</td> </tr> <tr> <td>早春賦<br/>(2・3下)</td> <td>・見開き3ページ<br/>(P22, 23 楽譜 (伴奏譜付), 写真, 経歴 P14 歌詞, 写真)</td> </tr> <tr> <td>花 (2・3下)</td> <td>・見開き4ページ (P4~7 歌詞, 写真, 経歴, 楽譜 (伴奏譜付))</td> </tr> <tr> <td>荒城の月<br/>(2・3上)</td> <td>・見開き2ページ<br/>(P20, 21 楽譜 (旋律譜), 歌詞, 写真, 経歴, 作詞者の言葉)</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 写真</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>曲名</th> <th>扱い方や工夫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏の思い出</td> <td>・作詞・作曲者, 尾瀬ヶ原の写真を掲載している。<br/>・尾瀬ヶ原の写真の下に尾瀬ヶ原のある県名と湿原植物の宝庫であることが示されている。</td> </tr> </tbody> </table> |   |                                 |   | 曲名 | 扱い方や工夫 | 夏の思い出<br>(2・3上) | ・見開き2ページ<br>(P12, 13 楽譜 (伴奏譜付), 歌詞, 写真, 経歴, 作曲者の言葉) | 赤とんぼ<br>(1) | ・見開き2ページ<br>(P24 楽譜 (伴奏譜付) P25 歌詞, 写真, 経歴, 作詞者の言葉) | 浜辺の歌<br>(1) | ・見開き2ページ<br>(P16, 17 楽譜 (伴奏譜付), 歌詞, 写真, 経歴, 作曲者の言葉) | 花の街<br>(2・3下) | ・見開き3ページ<br>(P12, 13 楽譜 (伴奏譜付), 写真, 経歴 P14 歌詞, 作詞者の言葉, 作曲者の言葉) | 早春賦<br>(2・3下) | ・見開き3ページ<br>(P22, 23 楽譜 (伴奏譜付), 写真, 経歴 P14 歌詞, 写真) | 花 (2・3下) | ・見開き4ページ (P4~7 歌詞, 写真, 経歴, 楽譜 (伴奏譜付)) | 荒城の月<br>(2・3上) | ・見開き2ページ<br>(P20, 21 楽譜 (旋律譜), 歌詞, 写真, 経歴, 作詞者の言葉) | 曲名 | 扱い方や工夫 | 夏の思い出 | ・作詞・作曲者, 尾瀬ヶ原の写真を掲載している。<br>・尾瀬ヶ原の写真の下に尾瀬ヶ原のある県名と湿原植物の宝庫であることが示されている。 |
| 曲名  | 扱い方や工夫  |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 夏の思い出<br>(2・3上)   | ・見開き2ページ<br>(P12, 13 楽譜 (伴奏譜付), 歌詞, 写真, 経歴, 作曲者の言葉)                   |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 赤とんぼ<br>(1)   | ・見開き2ページ<br>(P24 楽譜 (伴奏譜付) P25 歌詞, 写真, 経歴, 作詞者の言葉)                    |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 浜辺の歌<br>(1)   | ・見開き2ページ<br>(P16, 17 楽譜 (伴奏譜付), 歌詞, 写真, 経歴, 作曲者の言葉)                   |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 花の街<br>(2・3下)   | ・見開き3ページ<br>(P12, 13 楽譜 (伴奏譜付), 写真, 経歴 P14 歌詞, 作詞者の言葉, 作曲者の言葉)        |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 早春賦<br>(2・3下)   | ・見開き3ページ<br>(P22, 23 楽譜 (伴奏譜付), 写真, 経歴 P14 歌詞, 写真)                    |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 花 (2・3下)  | ・見開き4ページ (P4~7 歌詞, 写真, 経歴, 楽譜 (伴奏譜付))                                 |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 荒城の月<br>(2・3上)  | ・見開き2ページ<br>(P20, 21 楽譜 (旋律譜), 歌詞, 写真, 経歴, 作詞者の言葉)                    |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 曲名  | 扱い方や工夫  |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |
| 夏の思い出   | ・作詞・作曲者, 尾瀬ヶ原の写真を掲載している。<br>・尾瀬ヶ原の写真の下に尾瀬ヶ原のある県名と湿原植物の宝庫であることが示されている。 |                                 |   |    |        |                 |   |             |  |             |   |               |  |               |  |          |                                       |                |  |    |        |       |   |



|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 赤とんぼ | ・作詞・作曲者，赤とんぼの写真を掲載している。         |
| 浜辺の歌 | ・作詞・作曲者，神奈川県藤沢市辻堂海岸の写真が掲載されている。 |
| 花の街  | ・作詞・作曲者                         |
| 早春賦  | ・作詞・作曲者，早春の山の風景                 |
| 花    | ・桜の写真                           |
| 荒城の月 | ・大分県 岡城址                        |

③ 作詞・作曲者の曲に対する記述

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | ・作曲者は昭和24年，NHK ラジオの歌謡として作曲を依頼された。作曲時のエピソードや詩と旋律，伴奏の響きの違いについて200字程度で書かれている。 |
| 赤とんぼ  | ・作詞者の幼少時代の思い出を200字強で書かれている。  |
| 浜辺の歌  | ・作曲者の音楽に対する想いを100字弱で書かれている。  |
| 花の街   | ・作詞者が詩を描いた経緯と当時の状況を，200字強で書かれている。<br>・作曲者が初めて詩を見た時の想いを，200字程度で書かれている。      |
| 早春賦   | ・記載なし  |
| 花     | ・記載なし  |
| 荒城の月  | ・作詞を依頼された経緯と荒城をイメージした3つの城について200字強で書かれている。                                 |

教芸

④ 作詞・作曲者の経歴

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | ・作詞・作曲者の名前，生没年，出身都道府県名，作品名について書かれている。  |
| 赤とんぼ  | ・作詞・作曲者の名前，生没年，出身都道府県名，作風や功績について書かれている。  |
| 浜辺の歌  | ・作詞者の名前，生没年，出身都道府県名，本名，職歴について書かれている。<br>・作曲者の名前，生没年，出身都道府県名，この曲が作曲された年代等について書かれている。  |
| 花の街   | ・作詞・作曲者の名前，生没年，出身都道府県名，作品名について書かれている。  |
| 早春賦   | ・作詞者の名前，生没年，出身都道府県名，職歴等について書かれている。<br>・作曲者の名前，生没年，出身都道府県名，職歴，中田喜直(息子)との関係について書かれている。 |
| 花     | ・作詞者の名前，生没年，出身都道府県名，出身学校，職歴等について書かれている。<br>・作曲者の名前，生没年，出身都道府県名，作品名等について書かれている。       |

|      |   |
|------|---|
| 荒城の月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作詞者の名前, 生没年, 出身都道府県名, 本名, 職歴等について書かれている。</li> <li>・作曲者の名前, 生没年, 出身都道府県名, 作品名等について書かれている。</li> </ul> |
|------|---|

⑤ 歌唱方法と速さ

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部分2部合唱で書かれている。(第3・4フレーズ全体が2部合唱になっている。)</li> <li>・速さは ♩ = 63 ぐらい と示されている。</li> </ul>  |
| 赤とんぼ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・斉唱で書かれている。</li> <li>・速さは ♩ = 58 ~ 63 と示されている。</li> </ul>   |
| 浜辺の歌  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・斉唱で書かれている。</li> <li>・速さは ♩ = 104 ~ 112 優美に と示されている。</li> </ul>   |
| 花の街   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・斉唱で書かれている。</li> <li>・速さは ♩ = 72 ~ 84 と示されている。</li> </ul>   |
| 早春賦   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・斉唱で書かれている。</li> <li>・速さは 感情を込めて ♩ = 116 と示されている。</li> </ul>  |
| 花     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女声2部合唱で書かれている。</li> <li>・速さは ♩ = 60 ~ 66 と示されている。</li> </ul>   |
| 荒城の月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P20の楽譜は斉唱(伴奏譜なし)で書かれている。速さは Andante と示されている。</li> <li>・P21の楽譜は斉唱(伴奏譜なし)で書かれている。速さは Lento doloroso cantabile ♩ = 63 と示されている。</li> </ul> |

⑥ 歌詞の解説やリズムのつき方の特徴

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「石楠花色」「浮き島」について解説している。</li> <li>・2番の歌詞「におって」の部分がシンコーペーションの形で歌うように表記されている。</li> </ul> |
| 赤とんぼ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「負われて」「お里のたより」について解説している。</li> </ul>   |
| 浜辺の歌  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あした」「もとおれば」について解説している。</li> </ul>   |
| 花の街   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載なし</li> </ul>  |
| 早春賦   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「時にあらず」「角ぐむ」「さては時ぞと」「思うあやにく」「知らでありしを」について解説している。</li> </ul>                          |
| 花     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うらら」「懼」「たとうべき」「見ずや」「あけぼの」「錦おりなす」「長堤」「くるれば」「げに」「一刻も千金の」について解説している。</li> </ul>        |
| 荒城の月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「花の宴」「千代の松が枝」「植うるつるぎに照りそいし」「かずら」「天上影は」「栄枯」について解説している。</li> </ul>                     |

⑦ 調や記号, 共通事項

| 曲名    | 扱い方や工夫   |
|-------|--|
| 夏の思い出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P13下にニ長調と「dim.」の記号と解説のページが示されている。</li> </ul> |

|      |   |
|------|---|
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標の横に、記号で注意すべき共通事項（旋律、強弱）が示されている。</li> </ul>   |
| 赤とんぼ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標の横に、記号で注意すべき共通事項（旋律、強弱）が示されている。</li> </ul>   |
| 浜辺の歌 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P17 下にへ長調と「rit.」の記号と解説のページが示されている。</li> <li>・学習の目標の横に、記号で注意すべき共通事項（リズム、旋律、強弱）が示されている。</li> </ul>    |
| 花の街  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P13 下に「crescendo」の記号と解説のページが示されている。</li> <li>・学習の目標の横に、記号で注意すべき共通事項（旋律、強弱）が示されている。</li> </ul>       |
| 早春賦  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標の横に、記号で注意すべき共通事項（リズム、強弱）が示されている。</li> <li>・1.2.番カッコに「a tempo」が明示されている。</li> </ul>              |
| 花    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P 5 下に付点16分音符、32分音符の記号が示されている。</li> <li>・学習の目標の横に、記号で注意すべき共通事項（旋律、強弱）が示されている。</li> </ul>            |
| 荒城の月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・P21 下に Lento doloroso cantabile の解説が掲載されている。</li> <li>・学習の目標の横に、記号で注意すべき共通事項（旋律）が示されている。</li> </ul> |

教芸

- 歌唱共通教材は、「心の歌」と称され、縦書きの歌詞、作曲者、作詞者の写真や言葉とともに掲載されている。
- 「荒城の月」以外は伴奏譜付楽譜で掲載されている。

【音楽（一般）】

|    |                      |
|----|----------------------|
| 観点 | 基礎・基本の定着             |
| 視点 | ③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫 |
| 方法 | 創作に関する学習の構成          |

|  |                                   |                      |   |    |
|--|-----------------------------------|----------------------|---|----|
| 発行者  | 調査・研究内容                           |                      |   |    |
| 教出   | 【創作に関する学習の構成】                     |                      |   |    |
|  | 目次中に「音のスケッチ 創作のページ」としてまとめて示されている。 |                      |   |    |
|  | 教科書                               | 目次の示し方               | 概要・扱い   | 頁数 |
|  | 1                                 | 楽しいリズム曲をつくろう         | 単語（言葉）のリズムを重ねていく。   | 4  |
|  |                                   | 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう   | 七五調の言葉に、抑揚を考えながらミ・ソ・ラの音を当てはめていきメロディーにしていく。段階的に音の数を増やしていく。 | 4  |
|  |                                   | 太鼓のための音楽をつくろう        | 反復の仕方、速度や強弱などを工夫して、太鼓のリズムをつくっていく。                         | 2  |
|  | 2・3<br>上                          | 動機を生かした旋律をつくろう       | 任意の音を選んで動機（モチーフ）をつくり、反復、変化を加えて曲にしていく。                     | 2  |
|  |                                   | 構成を工夫して箏（こと）で表現してみよう | 平調子に調弦された箏を使ってリズム譜を演奏し旋律にしていく。                            | 2  |
|  | 2・3<br>下                          | CMソングをつくろう           | 地域の名物や名所のキャッチコピーから、構成を考えながら旋律をつくっていく。                     | 4  |
|  |                                   | 音楽を自由に構成しよう          | 短い物語をつくり、身近な楽器を用いて動機（モチーフ）をつくり、反復、変化、対照などの構成を工夫して曲にしていく。  | 2  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単語や動機、キャッチコピーをもとにした創作と和楽器や身近な楽器を使った創作がある。</li> <li>○ 短い言葉やリズム、リズムパターン等をマスの中にはめ込んでいけばフレーズになるような、マス目付の帯譜が掲載されている。帯譜は、リズム譜や五線譜と連動している。</li> <li>○ 3年間を通じて、段階的にメロディーづくりができるような構成である。</li> </ul> |                                   |                      |   |    |

【創作に関する学習の構成】

目次及び音楽学習MAP中に「My Melody」「Let's Create!」としてまとめて示されている。

| 教科書      | 目次の示し方                     | 概要・扱い  | 頁数 |
|----------|----------------------------|--|----|
| 1        | イメージをもとに構成を工夫して音楽をつくろう     | 3～4人のグループで、イメージに合う場面を考え、いろいろな身の周りの音を用いて音楽をつくる。図形楽譜に表しながら学習を進める。                      | 2  |
|          | 日本の音階を使って旋律をつくろう           | 日本の音階の中から任意の音を選び、リズム譜に当てはめてメロディーをつくっていく。   | 2  |
| 2・3<br>上 | 和音の音を使って旋律をつくろう            | 示された和音展開の楽譜から、和声音を使って旋律をつくっていく。  | 2  |
|          | 構成を工夫して言葉によるリズムアンサンブルをつくろう | 3～4人のグループで、言葉遊びを行う。サラダの材料の名前を使ってリズムアンサンブルを行い曲にしていく。                                  | 2  |
| 2・3<br>下 | 歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう          | 自分たちの学校や住んでいるところの紹介をする文から、歌詞の抑揚に合ったメロディーを考え曲にしていく。                                   | 2  |
|          | 構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう      | 3～4人のグループで、対照的なリズムパターンA・Bを組み合わせ、A—B—Aの構成のリズムアンサンブルをつくっていく。記譜は行わず、表を用いて役割分担の図的に表していく。 | 2  |

教芸

- 「Let's Create!」は、場面の变化をイメージしたり対照的な場面を意識したりして構成を工夫して音楽をつくる題材が掲載されている。
- 「My Melody」は、民謡音階や和音の構成音から音を選択したり言葉の抑揚を生かしたりして旋律づくりをする題材が掲載されている。
- 音楽の始まり→中→終わりが意識できたり拍にのって音を選択することで旋律づくりができたりするワークシートが掲載されている。
- 五線譜以外の表し方が、文字や図形、表などを用いるようになっている。

【音楽（一般）】

|    |                       |
|----|-----------------------|
| 観点 | 基礎・基本の定着              |
| 視点 | ④様々な音楽文化についての理解を深める工夫 |
| 方法 | 我が国の音楽文化・諸外国の音楽文化の扱い  |

| 発行者 | 調査・研究内容  |                  |  |   |       |    |
|-----|--|------------------|--|---|-------|----|
| 教出  | <p>【我が国の音楽文化・諸外国の音楽文化の扱い】</p> <p>目次中に「さまざまな音楽文化—日本とアジア—」(1), 「さまざまな音楽文化—日本と世界—」(2・3上及び下)としてまとめて示されている。その項目で取り扱われている音楽文化が以下の表である。</p> |                  |  |   |       |    |
|     |  |                  | 教科書  | 目次の示し方  | 概要・扱い | 頁数 |
|     |  | 1                | さまざまな音楽文化—日本とアジア—  | ソーラン節<br>◇楽譜<br>◇「ソーラン節」「かりぼし切り歌」との比較について<br>◇民謡の特徴について   | 2     |    |
|     |  |                  |  | 日本の民謡と芸能<br>◇民謡の種類（祭りの音楽・芸能，仕事歌，祝い歌，踊り歌，子守歌，楽しみのための歌）についての説明が掲載されている。<br>◇日本地図上に各都道府県を代表する民謡の曲名と種類が掲載され，そのうち9曲は窓枠中に詳しく説明が写真とともに掲載されている。 | 6     |    |
|     |  |                  |  | 箏曲「六段の調」<br>◇箏・調子・余韻・奏法と楽譜について<br>◇楽曲について<br>◇関連教材「鹿の遠音」(尺八)  | 4     |    |
|     |  |                  |  | 日本とアジアをつなぐ音<br>日本の民謡などの声の出し方や楽器と，アジアの国々(朝鮮半島・インドネシア・タイなど)の民族音楽とを比較しながら聴けるよう説明と写真が掲載されている。   | 2     |    |
|     | 2・3上   | さまざまな音楽文化—日本と世界— | 雅楽「越天楽」<br>◇雅楽・舞楽・管絃について<br>◇楽曲について<br>◇楽器について<br>◇「序破急」について   | 3   |       |    |
|     |  |                  | 歌舞伎「勧進帳」<br>◇歌舞伎について<br>◇内容について<br>◇場面の粗筋について<br>◇音楽・舞踊・演技について | 4   |       |    |

|  |          |                      |  |   |
|--|----------|----------------------|--|---|
| 教出   |          |                      | 日本と世界をつなぐ音<br>日本と諸外国の、リード楽器と弦楽器とを比較しながら聴けるよう説明と写真が掲載されている。   | 2 |
|  | 2・3<br>下 | さまざまな音楽文化<br>—日本と世界— | 子守歌 (ねんねこ ころろこ)<br>歌唱用の楽譜が掲載され、子守歌についての説明がされている。   | 1 |
|  |          |                      | 谷茶前<br>歌唱用の楽譜が掲載され、民謡についての説明がされている。  | 1 |
|  |          |                      | くらしとともにあるさまざまな音楽<br>「音楽で表す感謝の気持ちや祈り」として、日本の天台声明、台湾の布農族の合唱、アメリカのコスベル、ブルガリアの女声合唱が、「物語と音楽」として中国の京劇、アメリカのミュージカル、フランスのバレエがそれぞれ説明され写真が掲載されている。 | 3 |
|  |          |                      | 能「羽衣」キリから<br>◇能について<br>◇場面のあらすじについて<br>◇演じられる場所について<br>◇謡の音やリズムについて  | 5 |
|  |          |                      | 文楽「義経千本桜」から<br>◇文楽について<br>◇場面のあらすじについて<br>◇演じられる場所について<br>◇文楽の音楽について   | 2 |
| <p>※ <span style="background-color: #cccccc;">      </span> は、諸外国の音楽文化に関わる部分</p> <p>○ それぞれの学年において、日本の音楽文化と世界の音楽文化を対比させながら構成されている。</p> <p>○ 特に日本の伝統芸能に関しては、Let's Try や資料の頁で、「体験しよう」「調べよう」などの形態で学習が進められるような資料(楽譜や奏法など)がどの学年にも掲載されている。</p> <p>○ 比較鑑賞をすることを中心に、民族楽器や演じる姿や資料となる写真(見開き)、説明を掲載し、我が国の伝統的音楽文化については、実際にやってみることを促すコーナーがある。諸外国の音楽文化については、日本とアジア、日本と世界、人々のくらしと結びついて生まれた音楽文化へと広げている。</p> |          |                      |  |   |

【我が国の音楽文化・諸外国の音楽文化の扱い】

音楽学習MAP中に「我が国や世界のさまざまな音楽を聴こう」としてまとめて示されている。その項目で取り扱われている音楽文化が以下の表である。

| 教科書      | 目次の示し方                           | 概要・扱い  | 頁数 |
|----------|----------------------------------|--|----|
| 1        | 日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう。<br>—箏曲—   | 「六段の調」<br>◇箏・余韻・楽譜について<br>◇楽曲について<br>◇作曲者について<br>◇「序破急」について  | 2  |
|          | 日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう。<br>—尺八曲—  | 「巢鶴鈴慕」<br>◇尺八・奏法について<br>◇楽曲について<br>◇作曲者について<br>◇「間」について<br>◇琴古流古典本局について  | 2  |
|          | 人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう。 | 日本の民謡<br>日本の民謡について、タイプ・リズム・音階の分類や説明が掲載されている。日本地図上に各都道府県を代表する民謡の曲名が掲載され、そのうち6曲は窓枠中に詳しく説明が掲載されている。ソーラン節は楽譜やコブシの説明も掲載されている。 | 4  |
|          | アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。           | アジアの諸民族の音楽<br>中国・朝鮮半島・モンゴル・パキスタンなど4カ国の民俗音楽が簡単な文と写真で紹介されている。  | 2  |
|          | ア・カベラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。        | ア・カベラの合唱曲<br>ア・カベラについての説明と、代表的な4曲が窓枠中に紹介されている。Kum Ba Yahは楽譜も掲載されている。   | 2  |
| 2・3<br>上 | オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。          | 「アイーダ」から<br>◇各幕・場の粗筋<br>◇楽曲について<br>◇作曲者について<br>◇オペラについて<br>◇上演に関わる人について<br>◇バレエとミュージカルについて                               | 4  |
|          | 日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。<br>—歌舞伎—  | 「勧進帳」から<br>◇歌舞伎・長唄について<br>◇場面の粗筋について<br>◇唄い尻・産字について<br>◇歌い方について  | 2  |

教芸



|    |  |   |   |   |
|----|--|---|---|---|
| 教芸 |  | 日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。<br>—文楽(人形浄瑠璃)—                                   | 「新版歌祭文」“野崎村の段”から<br>◇文楽について<br>◇太夫・三味線・人形について<br>◇場面の粗筋について<br>◇「義太夫節」について                    | 2 |
|    |  | 人々の暮らしの中で受け継がれてきた日本の郷土芸能に親しみ、そのよさを味わおう。                                 | 日本の郷土芸能<br>日本地図上に各都道府県を代表する郷土芸能の曲名が掲載され、そのうち5曲は窓枠中に詳しく説明が写真とともに掲載されている。                       | 4 |
|    |  | 世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。   | 世界の諸民族の音楽<br>中国・スイス・インド・ボリビアなど4カ国の諸民族の音楽が簡単な文と写真で紹介されている。                                     | 2 |
|    | 2・3<br>下   | 曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。  | ブルタバ(モルダウ)<br>◇交響詩について<br>◇楽曲について<br>◇作曲者について<br>◇場面のテーマについて                                  | 2 |
|    |  | 曲の背景を知って、名曲を味わおう。   | 「レクイエム」から他<br>「レクイエム」「エチュードハ短調」「アランフエス協奏曲」「ノヴェンバー・ステップス」の4曲について作曲された背景など、楽曲についての説明が詳細に書かれている。 | 2 |
|    |  | 日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。<br>—雅楽—  | 平調「越天楽」<br>◇雅楽・舞楽・管絃について<br>◇楽曲について<br>◇楽器について<br>◇箏箏と唱歌について                                  | 4 |
|    |  | 日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。<br>—能—   | 「羽衣」から<br>◇能・狂言について<br>◇楽曲について<br>◇演者・演奏者について<br>◇場面の粗筋について                                   | 4 |
|    |  | 世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。   | 世界の諸民族の音楽<br>トルコ・西アフリカ・ハンガリー・メキシコ・インドネシアなど5カ国の諸民族の音楽が簡単な文と写真で紹介されている。                         | 2 |
|    | ポピュラー音楽を聴いて、その特徴を味わおう。   | ポピュラー音楽<br>ROCK・JAZZ・BOSSA NOVAについて、簡単な文と写真で紹介され、代表的な曲とその楽譜の一部が掲載されている。 | 2   |   |
|    | ※ <span style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> は、諸外国の音楽文化に関わる部分 |   |   |   |

○ それぞれの題材ごとに見ると，3年間を通じて次のように構成されている。

| 教科書      | 1        | 2・3上               | 2・3下                       |
|----------|----------|--------------------|----------------------------|
| 日本の伝統芸能  | 尺八，箏     | 歌舞伎，文楽             | 雅楽，能                       |
| 日本の音楽文化  | 民謡       | 郷土芸能               | —                          |
| 世界の音楽文化  | アジアの民族音楽 | 世界の民族音楽            | 世界の民族音楽                    |
| 関連する音楽文化 | —        | オペラ，合唱曲，<br>ア カペラ曲 | オーケストラ曲<br>ピアノ曲<br>ポピュラー音楽 |

教芸

- 特徴的な声や楽器等に注目させて鑑賞することを中心に，民族楽器や演じる写真や資料となる写真，説明を掲載している。
- 伝統的な歌唱と結び付けて歌う時の姿勢を示した絵や旋律線を示した絵譜が掲載されている。
- 「日本の伝統芸能に親しもう。」は「声や音楽の特徴を感じ取って唄（謡）おう。」と関連した扱いになっている。諸外国の音楽文化については，アジア，世界の音楽で声と楽器に視点を当てて，さらに世界の楽器が重なり合う音楽へと広げている。

【音楽（一般）】

|    |                         |
|----|-------------------------|
| 観点 | 主体的に学習に取り組む工夫           |
| 視点 | ⑤興味・関心を高めるための工夫         |
| 方法 | 多様な音楽活動のための資料及び巻頭と巻末の扱い |

| 発行者 | 調査・研究内容          |                    |        |  |                   |
|-----|------------------|--------------------|--------|--|-------------------|
| 教出  | 【多様な音楽活動のための資料】  |                    |        |  |                   |
|     | 教科書              | 目次名(資料)            | 分量     | 内容の概略  | 頁                 |
|     | 1                | Let's Try!         | 2 P    | 指揮をしてみよう   | P22, 23           |
|     |                  | 「音」ってなあに?          | 1 P    | <b>発展</b> 音が振動であることの解説   | P64               |
|     |                  | リコーダー運指表/コードネーム表   | 1 P    | 運指表とコードネーム表 コードネームはアルファベットの名前と音符を表記 (13種, Cベース)                      | P65               |
|     | 2・3<br>上         | Let's Try!         | 2 P    | 指揮をしてみよう   | P20, 21           |
|     |                  |                    | 2 P    | 郷土の民謡や芸能を調べてみよう<br>民謡を楽しもう   | P54<br>P55        |
|     |                  | 郷土の伝統ある音楽文化に触れる喜び  | 2 P    | 郷土に伝わる伝統芸能や音楽を「体験して受け継ぐ」「受け継ぎ守る」「味わい楽しむ」の3つに分け紹介。                    | P52, 53           |
|     |                  | ポピュラー音楽図鑑          | 4 P    | ブルース, ゴスペル, ジャズ, リズム&ブルース, カントリー&ウェスタン, フォーク, ロックの代表的な演奏家の写真と解説文で紹介。 | P58, 59<br>60, 61 |
|     |                  | コンピュータと音楽          | 2 P    | コンピュータを使った音楽の学習について例示。   | P62, 63           |
|     |                  | 音の三要素 Part 1       | 1 P    | <b>発展</b> 音の三要素 (音量, 音高, 音色) にふれ, 中でも音量について解説。                       | P64               |
|     |                  | リコーダー運指表/コードネーム表   | 1 P    | 1年と同内容   | P65               |
|     | 2・3<br>下         | Let's Try!         | 2 P    | 指揮をしてみよう   | P16, 17           |
|     |                  |                    | 2 P    | 能の音楽を体験しよう   | P34, 35           |
|     |                  | 音楽著作権とインターネットについて  | 2 P    | 著作権についての説明とインターネットで配信する際の注意事項を掲載。                                    | P50, 51           |
|     |                  | アトリチ・教育活動・音楽療法について | 2 P    | それぞれの活動について説明と写真を掲載。(音楽療法は写真なし)                                      | P52, 53           |
|     |                  | 日本と西洋の音楽の歩み        | 6 P    | 上段に日本, 下段に西洋の歴史を説明と写真により掲載。  | P54~<br>59        |
|     |                  | 肖像で見る音楽年表 1        | 4 P    | 日本や西洋の音楽家の肖像画と年表を掲載。(左頁に肖像, 右頁に年表)                                   | P60, 61<br>62, 63 |
|     |                  | 音の三要素 Part 2       |        | <b>発展</b> 音の三要素 (音量, 音高, 音色) にふれ, 音高と音色について文と波形図で解説。                 | P64               |
|     | リコーダー運指表/コードネーム表 | 1 P                | 1年と同内容 | P65  |                   |

○ 「Let's Try!」の項目を掲げ、指揮者の体験、創作や鑑賞で学んだことを体験してみたり更に深く調べてみたりする活動に発展できるよう構成されている。また全学年共通でリコーダーの運指表とコードネーム表、「ポピュラー音楽図鑑」「コンピュータと音楽」「私たちのくらしと音楽」「日本と西洋の音楽のあゆみ」等多様な音楽活動への興味・関心を高めるための資料が掲載されている。

【巻頭と巻末の扱い】

《巻頭》

(口絵1)

| 教科書  | 資料名           | 分量  | 内容の概略                       |
|------|---------------|-----|-----------------------------|
| 1    | With My Heart | 2 P | 庄司紗矢香 (ヴァイオリニスト) の写真, 言葉を掲載 |
| 2・3上 | With My Heart | 2 P | 宮本亜門 (演出家) の写真, 舞台, 言葉を掲載   |
| 2・3下 | With My Heart | 2 P | 上妻宏光 (津軽三味線奏者) の写真, 言葉を掲載   |

(口絵2)

| 教科書  | 分量  | 内容の概略                    |
|------|-----|--------------------------|
| 1    | 1 P | シューベルトの写真, 自筆譜, 創作物語を掲載  |
| 2・3上 | 1 P | ベートーヴェンの写真, 自筆譜, 創作物語を掲載 |
| 2・3下 | 1 P | 世阿弥元清の自筆文, 創作物語を掲載       |

《巻末》

(口絵3 口絵4)

| 教科書  | 資料名       | 分量  | 内容の概略  |
|------|-----------|-----|--|
| 1    | オーケストラの楽器 | 3 P | オーケストラの主要楽器の写真と各楽器の説明文を楽器群に分け掲載                |
| 2・3上 | 日本の楽器     | 3 P | 日本の楽器の写真と各楽器の説明文を楽器群に分け掲載                      |
| 2・3下 | さまざまな舞台芸術 | 3 P | 「オペラ」「ミュージカル」「バレエ」「ジーンズ」「文楽」「能」「歌舞伎」の一場面の写真を掲載 |

(全学年共通)

| 掲載内容           | 頁               |
|----------------|-----------------|
| 歌のアルバム (合唱曲集)  | P66~79          |
| 全校合唱「故郷」楽譜     | P80             |
| 全校合唱「故郷」に関する写真 | P81             |
| 国歌「君が代」        | P82, 83         |
| 楽典             | P84, 84-①, 84-② |

○ 巻頭は、「With My heart」音楽はメッセージと題して、演奏家、演出家自身の写真や言葉、演劇の一場面の写真等を掲載している。

○ 巻末は、全学年「歌のアルバム」として合唱曲が掲載され、その最後には、共通して「故郷」の全校合唱が掲載されている。教科書1では同声二部合唱、2・3上は混声三部合唱、2・3下は混声四部合唱となっており、それぞれ1~3番までをイメージした写真も掲載されている。その他、国歌「君が代」、楽典等が掲載されている。

教出

【多様な音楽活動のための資料】

| 教科書      | 目次名(資料)    | 分量  | 内容の概略  | 頁                           |
|----------|------------|-----|--|-----------------------------|
| 1        | 原語で歌ってみよう! | 1 P | 英語の語感を感じ取りながら工夫して歌う。                               | P15                         |
|          | 音楽の約束      | 4 P | 五線譜, 音符・休符など7つの項目に分類し掲載。                           | P76, 77<br>78, 79           |
| 2・3<br>上 | 原語で歌ってみよう! | 1 P | イタリア語の語感を感じ取りながら工夫して歌う。                            | P25                         |
|          | 音楽の約束      | 2 P | 1年の中の基礎的な記号の部分を省略し, 音程・和音の部分を詳しく説明。                | P77, 78<br>79               |
| 2・3<br>下 | 特集         | 2 P | 国境を越えて影響し合う音楽                                      | P48, 49                     |
|          |            | 2 P | ルールを守って音楽を楽しもう!                                    | 50, 51                      |
|          | 音楽の約束      | 1 P | 音符・休符など基礎的なことを掲載                                   | P73                         |
|          | 耳でたどる音楽史   | 6 P | 上段に日本, 下段に西洋の音楽に特化した年表を掲載。西洋の年表には音楽家の肖像画や代表作品名を記載。 | P74, 75<br>76, 77<br>78, 79 |

教芸

○ 全学年に「指揮をしてみよう!」のコーナーがあり, 1, 2年生にはアメリカやイタリアの歌曲を「原語で歌ってみよう!」のコーナーや, 3年生には特集として, 「国境を越えて影響し合う音楽」「ルールを守って音楽を楽しもう!」等多様な音楽活動への興味・関心を高めるための資料が掲載されている。

【巻頭と巻末の扱い】

《巻頭》

(口絵1, 2) いろいろな演奏場面の写真を見開きで掲載。

| 教科書      | タイトル             | 内 容                                  |
|----------|------------------|--------------------------------------|
| 1        | 心ときめく音楽との出会い     | ル・ボン国際音楽祭, アース・セレブレーション, 霧島国際音楽祭等の写真 |
| 2・3<br>上 | 異次元へと誘う<br>壮麗な舞台 | アリーナ デイ ヴェローナ音楽祭でのオペラ「アイーダ」の空撮       |
| 2・3<br>下 | 受け継がれる祖国への思い     | プラハの春音楽祭でのスメタナホール舞台遠景(オーケストラ演奏)      |

(口絵3, 4) 発展的学習に関する写真・説明

| 教科書      | 口絵3   | 口絵4                            |
|----------|---|--------------------------------|
| 1        | 静けさと日本の音と題して観世音寺の梵鐘の写真                      | 立石寺の写真と芭蕉の俳句「閑かさや岩にしみ入る蟬の声」を紹介 |
| 2・3<br>上 | ふるさとへの誇りを胸にと題して小松市の中学生が演じる勸進帳の舞台や作成途中の写真数点。 |                                |
| 2・3<br>下 | 世界に誇る日本の宝物と題して螺鈿紫檀五絃琵琶の正面, 背面の写真            |                                |

※それぞれに発展的学習として調べ学習のテーマが書かれている。

《巻末》

(口絵5, 6, 7, 8, 9) 楽典に関すること, 楽器, 舞台などの写真や絵を掲載。

| 教科書  | 口絵5  | 口絵6  | 口絵7   | 口絵8                | 口絵9 |
|------|--|--|---|--------------------|-----|
| 1    | 音階と階名の秘密を探ろうと題して鍵盤のイラストともにハ長調, ト長調, ヘ長調のでき方を解説 |  | 日本とアジアの楽器と題して「打楽器」「弦楽器」「管楽器」を上段に日本, 下段にアジアの各楽器の写真に掲載。 |                    |     |
| 2・3上 | パイプオルガンの写真                                     | (上段) オーケストラの演奏写真(下段)オーケストラの主な楽器の写真               | 歌舞伎の見得, 六法の写真, 舞台の構造イラスト                              | 文楽の胴串写真や舞台の構造写真・解説 |     |
| 2・3下 | 能の面, シオリを演じる役者写真, 舞台の写真・解説                     | 能の影響を受けた諸芸能と題して能の演目や影響を受けてきた歌舞伎や文楽, 組踊の演目を紹介する写真 | 世界の祭りや踊りと題して [ボリビア] [スイス] [ブータン] [マリ] の写真と解説          |                    |     |

教芸

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 歌い継ごう日本の歌<br>全学年<br>1のみ<br>2・3上のみ | 「ふるさと」<br>「夕焼小焼」<br>「夏は来ぬ」   |
| 全学年                               | 心通う合唱 (合唱曲集)   |
| 音楽の約束<br>1<br>2・3上<br>2・3下        | 五線譜, 音符・休符など7つに分類し掲載。<br>1年の中の基礎的な記号の部分を省略し, 音程・和音の部分を詳しく説明。<br>音符・休符など基礎的なことを掲載<br>耳でたどる音楽史 |
| 全学年                               | 国歌「君が代」  |

(全学年通して)

- 巻頭は, 全学年とも口絵1～4まで多様な音楽の演奏場面や日本の伝統文化にまつわる写真が掲載されている。
- 巻末は, 全学年「心通う合唱」とし, 合唱曲と「歌い継ごう日本の歌」として教科書1では「夕焼小焼」「ふるさと」の混声二部合唱, 2・3上は「夏は来ぬ」「ふるさと」の混声三部合唱, 2・3下は「ふるさと」の混声四部合唱が掲載されている。
- その他, 「音楽の約束」, 国歌「君が代」, 口絵5～9として楽典に関することや多様な楽器, 舞台の写真や絵が掲載されている。

【音楽（一般）】

|    |   |
|----|---|
| 観点 | 主体的に学習に取り組む工夫                             |
| 視点 | ⑥主体的に活動するための工夫                            |
| 方法 | 生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス及び発展的な学習内容の記述とその具体例 |

| 発行者      | 調査・研究内容   |   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
|----------|---|---|-------|---|--|--|---|----------|---|----------|--|-----|------|---|-----------|------|--------------|------|--------------|
| 教出       | <p>【生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス及び発展的な学習内容の記述とその具体例】</p> <p>《生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's Try!」の「～を調べてみよう」や鑑賞の題材に「聴き比べてみよう!」のコーナーが設けられており、生徒が学習の中で興味・関心をもったことを、主体的に調べてみたり更に違う楽曲と聴き比べてみたりできるようになっている。</li> <li>○ 「Let's Try!」の項目を掲げ、声や身近な楽器を取り入れた活動のページとして、発展的な学習内容の記述とその具体例が示されている。</li> <li>○ 男子生徒・女子生徒・教師の三人のキャラクターを登場させ、活動のアドバイスや工夫の仕方、学習の流れや補足説明が示されている。</li> </ul> <p>《記載例》</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>巻数</th> <th>記載内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td>Let's Sing! 「歌うための準備」 P. 6 「変声と混声合唱」 P. 12</td> </tr> <tr> <td>Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 22<br/>「言葉のリズムで楽しもう」 P. 54<br/>「箏(こと)を弾いてみよう」 P. 58</td> </tr> <tr> <td>Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 20<br/>「『越天楽』を体験しよう」 P. 38<br/>「歌舞伎を体験しよう」 P. 39<br/>「郷土の民謡や芸能を調べてみよう」 P. 54<br/>「民謡を楽しもう」 P. 55</td> </tr> <tr> <td>2・3<br/>上</td> <td>Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 16<br/>「能の音楽を体験しよう」 P. 34<br/>「楽曲全体の構成を調べてみよう」 P. 42<br/>「声部の役割を生かして」 P. 44</td> </tr> <tr> <td>2・3<br/>下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>《発展的な学習内容の記述とその具体例》</p> <p>発展として「中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。」と目次に明記されている。音に対する関心をもたせ、学年が進むごとに音に対する知識が高まるコーナーが設けられている。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>教科書</th> <th>タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「音」ってなあに?</td> </tr> <tr> <td>2・3上</td> <td>音の三要素 PART-1</td> </tr> <tr> <td>2・3下</td> <td>音の三要素 PART-2</td> </tr> </tbody> </table> | 巻数  | 記載内容等 | 1 | Let's Sing! 「歌うための準備」 P. 6 「変声と混声合唱」 P. 12 | Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 22<br>「言葉のリズムで楽しもう」 P. 54<br>「箏(こと)を弾いてみよう」 P. 58 | Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 20<br>「『越天楽』を体験しよう」 P. 38<br>「歌舞伎を体験しよう」 P. 39<br>「郷土の民謡や芸能を調べてみよう」 P. 54<br>「民謡を楽しもう」 P. 55 | 2・3<br>上 | Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 16<br>「能の音楽を体験しよう」 P. 34<br>「楽曲全体の構成を調べてみよう」 P. 42<br>「声部の役割を生かして」 P. 44 | 2・3<br>下 |  | 教科書 | タイトル | 1 | 「音」ってなあに? | 2・3上 | 音の三要素 PART-1 | 2・3下 | 音の三要素 PART-2 |
|          | 巻数  | 記載内容等   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
|          | 1   | Let's Sing! 「歌うための準備」 P. 6 「変声と混声合唱」 P. 12  |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
|          |   | Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 22<br>「言葉のリズムで楽しもう」 P. 54<br>「箏(こと)を弾いてみよう」 P. 58  |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
|          |   | Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 20<br>「『越天楽』を体験しよう」 P. 38<br>「歌舞伎を体験しよう」 P. 39<br>「郷土の民謡や芸能を調べてみよう」 P. 54<br>「民謡を楽しもう」 P. 55 |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
| 2・3<br>上 | Let's Try! 「指揮をしてみよう」 P. 16<br>「能の音楽を体験しよう」 P. 34<br>「楽曲全体の構成を調べてみよう」 P. 42<br>「声部の役割を生かして」 P. 44   |   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
| 2・3<br>下 |   |   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
| 教科書      | タイトル  |   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
| 1        | 「音」ってなあに?   |   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
| 2・3上     | 音の三要素 PART-1  |   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |
| 2・3下     | 音の三要素 PART-2  |   |       |   |  |  |   |          |   |          |  |     |      |   |           |      |              |      |              |

【生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス及び発展的な学習内容の記述とその具体例】

《生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス》

- 「Challenge!!」がある題材があり、「自分がつくった旋律をアレンジしてみましよう。」や「他の曲でも聴いてみましょう。」の呼びかけがある。その他、「調べてみよう！」のコーナーがあり、自分達が住んでいる地域の民謡や伝統芸能を他の国の人に紹介できるようにインターネットなどを活用して調べてみよう、という呼びかけがある。
- 「ここが分かれば Grade Up!」の項目を掲げ、発展的な学習内容の記述とその具体例が示されている。
- 「確認しよう」の項目を掲げ、音楽活動をするための基本的なアドバイスが示されている。
- 「発声」の項目を掲げ、音楽活動をより発展的に行うためのアドバイスが示されている。
- 「指揮」の項目を掲げ、発展的な表現方法のアドバイスが示されている。

《記載例》

| 教科書    |          |  |
|--------|----------|--|
| 教<br>芸 | 1        | <p>ここが分かれば Grade Up! 「曲の構成～反復と変化～」 P.12<br/>「パートの役割と旋律の重なり方」 P.20<br/>「曲の構成～対照～」, 「強弱記号」 P.28</p> <p>Challenge!! さまざまなイメージがどのような音楽の要素から生み出されるかを、他の曲でも聴いてみましょう。 P.29<br/>ソネットを手がかりに、「四季」の中から他の曲も聴いてみましょう。 P.35<br/>シューベルトが作曲した他のリートも聴いてみましょう。 P.39<br/>現代風アレンジされた民謡を聴いてみましょう。 P.47</p> <p>調べてみよう! 自分たちの住んでいる地域や我が国に伝わる民謡を他の国の人にも紹介できるように、インターネットなどを活用して調べてみよう。 P.44</p> |
|        |          | <p>確認しよう 「BINGO GAME」 P.6<br/>「RHYTHM GAME」 P.7</p>  |
|        |          | <p>発声 「My Voice!」 P.8</p>  |
|        |          | <p>指揮 「指揮をしてみよう!」 P.52</p>   |
|        | 2・3<br>上 | <p>ここが分かれば Grade Up! 「パートの役割と曲の構成」 P.10<br/>「旋律の音の動きと強弱」 P.17<br/>「速度の変化」 P.26</p> <p>Challenge!! 他の曲についても、旋律の音の動きを確かめて、より豊かな表現の仕方を工夫してみましょう。 P.17<br/>他の代表的なカンツォーネも聴いてみましょう。 P.24<br/>下の例を参考にして、自分のつくった旋律をアレンジ（編曲）してみましょう。 P.29</p>   |



|          |  |
|----------|--|
|          | 調べてみよう！ 自分たちの住んでいる地域や我が国に伝わる芸能を他の国の人にも紹介できるように、インターネットなどを活用して調べてみよう。 P.51  |
|          | 確認しよう 「BINGO GAME」 P.6<br>「RHYTHM GAME」 P.7  |
|          | 発声 「My Voice!」 P.11  |
|          | 指揮 「指揮をしてみよう！」 P.54  |
| 2・3<br>下 | ここが分かれば <b>Grade Up!</b> 「パートの役割」 「旋律の音の動きと強弱」 P.11<br><b>Challenge!!</b> 速度を決めて、他の人のリズムと重ねてみましょう。 P.9<br>祖国への思いが託された他の曲も聴いてみましょう。 P.33<br>舞楽の音楽を聴いてみましょう。 P.38<br>自分の好きな曲についてプレゼンしてみましょう。 P.46<br>特集 ルールを守って音楽を楽しもう！（著作権等） P.50 |
|          | 確認しよう 「BINGO GAME」 P.8<br>「RHYTHM GAME」 P.9  |
|          | 発声 「My Voice!」 P.15  |
|          | 指揮 「指揮をしてみよう！」 P.52  |

教芸

《発展的な学習内容の記述とその具体例》

『発展的学習』として、「学習指導要領の示す範囲を超えた学習内容で、必要に応じて学習するものです。」と目次に明記されている。日本の伝統や文化について調べたり考えさせたりするコメントが記載されている。

| 教科書  | タイトル等                    |
|------|--------------------------|
| 1    | 静けさと日本の音 「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」 |
| 2・3上 | ふるさとへの誇りを胸に              |
| 2・3下 | 世界に誇る日本の宝物               |

【音楽（一般）】

|    |                        |
|----|------------------------|
| 観点 | 内容の構成・配列・分量            |
| 視点 | ⑦題材や資料等の配列             |
| 方法 | 題材の配列の仕方とそれに関連する資料等の扱い |

| 発行者 | 調査・研究内容  |                                   |   |        |        |   |        |   |   |      |       |   |   |      |       |   |   |     |        |          |   |                                   |   |
|-----|--|-----------------------------------|---|--------|--------|---|--------|---|---|------|-------|---|---|------|-------|---|---|-----|--------|----------|---|-----------------------------------|---|
| 教出  | <p>【題材の配列の仕方とそれに関連する資料等の扱い】<br/>                     (題材の配列の仕方)</p> <p>○ 目次の中で、題材につながりがあるものを、青、ピンク、緑の枠で囲んで示している。「音楽の要素を捉えながら(青)」「さまざまな音楽文化ー日本と世界ー(ピンク)」「歌い合わせ聴き深める喜び(緑)」</p> <p>《領域ごとの題材数》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科書</th> <th>歌唱の題材数</th> <th>鑑賞の題材数</th> <th>創作の題材数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10 (2)</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2・3上</td> <td>9 (3)</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2・3下</td> <td>8 (2)</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ( ) 内の数字は、歌唱共通教材を扱った題材数を表す。</p> <p>&lt;配列について&gt;</p> <p>○ 歌唱(合唱) → 指揮法 → 合唱 → 鑑賞(洋楽) → 鑑賞(邦楽・アジア・世界の諸民族など) → 鑑賞(洋楽) → 創作 → 資料 → 合唱 → 楽典</p> <p>○ 目次の中で学習内容につながりがあるものを青、ピンク、緑のくくりでまとめ、歌唱、鑑賞、創作の順に配列している。</p> <p>(題材に関連する資料等の扱い)</p> <p>&lt;発声や変声に関連する資料&gt;</p> <p>○ 1学年には「Let's Sing!」として、発声や変声に関する資料が掲載されている。ポイントになる部分が緑や青、オレンジの線で囲まれた中に、文章で説明されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科書</th> <th>頁とタイトル</th> <th>イラスト及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>P.6~7<br/>Let's Sing!<br/>「歌うための準備」</td> <td>                     P.6「姿勢」<br/>                     男の子の全身のイラストを用いて姿勢のポイントを示している。<br/>                     「息のコントロール」<br/>                     女の子の上半身のイラストを用いて説明している。<br/>                     →どちらもイラストから線で結ばれた四角い枠の中に、ポイントを簡潔にまとめたコメントがつけられている。<br/>                     P.7「母音の発音」<br/>                     文章の説明と&lt;口の形の例&gt;として、ア(a)、イ(i)、ウ(u)、エ(e)、オ(o)、それぞれの口の形を、横顔と口のイラストで示している。                 </td> </tr> </tbody> </table> | 教科書                               | 歌唱の題材数  | 鑑賞の題材数 | 創作の題材数 | 1 | 10 (2) | 6 | 3 | 2・3上 | 9 (3) | 7 | 2 | 2・3下 | 8 (2) | 6 | 2 | 教科書 | 頁とタイトル | イラスト及び内容 | 1 | P.6~7<br>Let's Sing!<br>「歌うための準備」 | P.6「姿勢」<br>男の子の全身のイラストを用いて姿勢のポイントを示している。<br>「息のコントロール」<br>女の子の上半身のイラストを用いて説明している。<br>→どちらもイラストから線で結ばれた四角い枠の中に、ポイントを簡潔にまとめたコメントがつけられている。<br>P.7「母音の発音」<br>文章の説明と<口の形の例>として、ア(a)、イ(i)、ウ(u)、エ(e)、オ(o)、それぞれの口の形を、横顔と口のイラストで示している。 |
|     | 教科書  | 歌唱の題材数                            | 鑑賞の題材数  | 創作の題材数 |        |   |        |   |   |      |       |   |   |      |       |   |   |     |        |          |   |                                   |   |
|     | 1  | 10 (2)                            | 6   | 3      |        |   |        |   |   |      |       |   |   |      |       |   |   |     |        |          |   |                                   |   |
|     | 2・3上   | 9 (3)                             | 7   | 2      |        |   |        |   |   |      |       |   |   |      |       |   |   |     |        |          |   |                                   |   |
|     | 2・3下   | 8 (2)                             | 6   | 2      |        |   |        |   |   |      |       |   |   |      |       |   |   |     |        |          |   |                                   |   |
|     | 教科書  | 頁とタイトル                            | イラスト及び内容  |        |        |   |        |   |   |      |       |   |   |      |       |   |   |     |        |          |   |                                   |   |
|     | 1  | P.6~7<br>Let's Sing!<br>「歌うための準備」 | P.6「姿勢」<br>男の子の全身のイラストを用いて姿勢のポイントを示している。<br>「息のコントロール」<br>女の子の上半身のイラストを用いて説明している。<br>→どちらもイラストから線で結ばれた四角い枠の中に、ポイントを簡潔にまとめたコメントがつけられている。<br>P.7「母音の発音」<br>文章の説明と<口の形の例>として、ア(a)、イ(i)、ウ(u)、エ(e)、オ(o)、それぞれの口の形を、横顔と口のイラストで示している。 |        |        |   |        |   |   |      |       |   |   |      |       |   |   |     |        |          |   |                                   |   |

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| P.12<br>Let's Sing!<br>「変声と<br>混声合唱」 | 「変声 (声変わり)」<br>変声についての説明と、音域を示すために、ト音譜表とヘ音譜表の楽譜も記載されている。<br>楽譜は、変声後の女声と男声の音域を、ト音譜表とヘ音譜表で示している。 |
|--------------------------------------|--|

<歌唱に関連する資料>

- 曲のイメージに関連させた写真が、題名や楽譜の背景になっている。
- ポイントになる言葉や文章、記号などが、緑や青、紫などの色がついた線の枠の中に、文章で説明されている。
- キャラクターの吹き出しで発展的な学習内容が示されている。
- 歌唱共通教材を「日本の歌 みんなの歌」として示し、その資料として、曲のモチーフになっている場所や景色、植物や自然などの写真が大きく掲載されている。また、作詞者、作曲者についての写真や説明があり、「A Message for you」として、曲を作ったときの思いを述べた、作詞者、作曲者の言葉が書かれている。
  - (1年 「赤とんぼ」作詞者の「A Message for you」のみ)
  - (2・3上「浜辺の歌」作曲者の「A Message for you」のみ  
「花の街」作曲者の「A Message for you」のみ  
「早春賦」作詞者、作曲者の「A Message for you」なし)
  - (2・3下「花」作詞者、作曲者の「A Message for you」なし  
「荒城の月」作曲者の写真、説明なし、作詞者の「A Message for you」のみ)
- 全学年、歌唱共通教材の後に「Let's Try!『指揮をしてみよう』」というページがある。教科書掲載の歌唱共通教材の指揮の仕方をイラストや楽譜で説明しており、楽譜に注意点や工夫を書き込めるメモ欄(1, 2・3下)が作られている。

<<具体例>>

| 教科書         | 頁とタイトル                       | イラスト及び内容   |
|-------------|------------------------------|--|
| 1           | P.11<br>ハ長調とイ短調でよく使われる和音     | 「アニー・ローリー」の楽譜の下に、コードネームと和音記号が楽譜と共に示されている。                                    |
|             | P.13<br>声部の分かれ方              | 「こげよマイケル」の楽譜の下に、「こげよマイケルの」冒頭の楽譜があり、ソプラノ、アルト、男声が歌う旋律が、パートごとに色分けされたラインでなぞってある。 |
|             | P.15<br>歌詞の翻訳                | 「エーデルワイス」の楽譜の上に、日本語訳がある。また、キャラクターの吹き出し(以下、「吹き出し」とする。)で、英語の発音の解説がある。          |
|             | P.25<br>聴き比べてみよう!            | 「ソーラン節」の資料として、「かりぼし切り歌」の説明の文章や民謡譜が記載されている。                                   |
| 2<br>・<br>3 | P.18<br>「子守歌 (ねんね<br>こころろこ)」 | 楽譜、歌詞の下に、歌詞に出てくる言葉の現代語訳、民謡や子守歌の歌詞や歌い方についての説明がある。                             |

教出

|    |   |   |
|----|---|---|
| 教出 | 下 P.19<br>「谷茶目」   | 楽譜の下に、歌詞に出てくる言葉の標準語訳、歌詞の大意、伴奏例などが載っている。 |
|    | <p>&lt;鑑賞に関連する資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真やイラストが掲載されている。</li> <li>○ 洋楽は、「作曲者〇〇について」という題で、作者の肖像画と説明が記載されている。<br/>         (2・3下 「ホルスト」肖像画, 写真なし)</li> <li>○ 洋楽は、右ページの端に、時代ごとに色分けされた帯が縦にあり、その横にその曲の作曲家の名前と生没年が示されている。</li> <li>○ 「楽曲について」という題で、文章やイラスト、表、楽譜などを用いて楽曲のポイントが説明されている。<br/>         (1年「魔王」なし)</li> <li>○ 「伝えてみよう！」という題で、鑑賞した曲の魅力を紹介する紹介文を書く欄がある。<br/>         (1年「魔王」「モルダウ」なし 2・3上「シェエラザード」「展覧会の絵」なし)<br/>         (2・3下「アランフェス協奏曲」なし)</li> <li>○ 「聴き比べてみよう！」という題で、関連する楽曲が示されている。<br/>         1年「六段の調」なし 2・3上「交響曲第5番ハ短調」「シェエラザード」なし</li> <li>○ 邦楽、民謡、アジア、世界の諸民族の音楽を扱うページでは、楽器、舞台上の演技、祭りの様子などの写真が、説明文と共に掲載されている。</li> </ul> <p>&lt;創作に関連する資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートの中に、絵譜や文章(歌詞)、工夫点などを書き込むことができるようになっている。</li> <li>○ リズム譜や五線譜と連動しているマス目付の帯譜や工夫したこと等を記入できるワークシートが掲載されている。</li> </ul> |   |

【題材の配列の仕方とそれに関連する資料等の扱い】

(題材の配列の仕方)

- 目次の中に、歌唱は黄緑、鑑賞は赤紫、創作は水色の字で、題材が示されている。
- 原則、歌唱、創作、鑑賞の順に配列されている。
- 音楽学習 MAP の中で、題材につながりがあるものをオレンジ色の線で結び、題材と題材のつながりに関連付けて示している。

《領域ごとの題材数》

| 教科書  | 歌唱の題材数 | 鑑賞の題材数 | 創作の題材数 |
|------|--------|--------|--------|
| 1    | 11 (2) | 7      | 2      |
| 2・3上 | 10 (2) | 8      | 2      |
| 2・3下 | 9 (3)  | 10     | 2      |

※ ( ) 内の数は、歌唱共通教材を扱った題材数を表す。

<配列について>

- 1年 歌唱(共通教材・合唱)→鑑賞(洋楽)→創作→鑑賞(洋楽) 鑑賞(邦楽)  
→歌唱(邦楽)→創作→鑑賞(アジア)→指揮法→合唱→楽典
- 2・3上 歌唱(共通教材・合唱)→鑑賞(合唱)→歌唱(共通教材・合唱)→創作  
→創作→鑑賞(洋楽)→鑑賞(邦楽)→歌唱(邦楽)→鑑賞(邦楽)→鑑賞(郷土・世界の諸民族)→指揮法→合唱→楽典
- 2・3下 歌唱(共通教材・合唱)→創作→創作→鑑賞(洋楽)→鑑賞(邦楽)→歌唱(邦楽)→鑑賞(世界の諸民族・ポピュラー)→指揮法→合唱→楽典

<発声や変声に関連する資料>

- 全学年に「My Voice!」という、発声に関する資料が掲載されている。
- 変声については、1学年「パフ」の楽譜に付随して掲載されている。

教芸

| 教科書 | 頁とタイトル                                   | イラスト及び内容  |
|-----|--|---|
| 1   | P.8～9<br>My Voice!<br>「自分もっている歌声を見つけよう！」 | <p>P.8「呼吸は歌声の命」「バランスのよい姿勢」<br/>呼吸やよい姿勢について、横から見た、女の子の上半身のイラストを用いて、文章で説明されている。イラストから線で結ばれた四角い枠の中に、ポイントを簡潔にまとめたコメントがつけられている。<br/>「スムーズな呼吸 EXERCISE」として、呼吸の練習法がリズム譜と共に記載されている。</p> <p>P.9「豊かな響きの歌声づくり」<br/>女の子が額に人差し指を当て、口を開いている様子がイラストで描かれている。イラストから線で結ばれた四角い枠の中に、「息の方向」「響かせ方」という2点についてのポイントを簡潔にまとめたコメントがつけられている。<br/>「響きづくり EXERCISE」として、明るい響きと暗い響きの声を聴き比べる方法が、男の子のイラストと共に記載されている。</p> |

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
|                  | P.19<br>「パフ」の楽譜の下に、<br>「声の出るしくみと変声期」   | 声帯から声が出るしくみを2つのイラストで示し、文章で声が出るしくみと変声期について説明している。図1として男の子の横顔に気管と声帯が書かれているもの、図2として吐いた息が声帯を通るしくみをイラストにしてあるものが掲載されている。              |
| 2<br>・<br>3<br>上 | P.11<br>My Voice!<br>「自分の思いを歌声にのせよう！」  | 「スムーズな息の流れに歌声をのせて」<br>「鼻濁音を使って柔らかな響きで」<br>それぞれのテーマに沿って、文章と男の子のイラストで説明されている。<br>「確認しよう」<br>女の子のイラストで姿勢や呼吸の仕方について説明されている。(1学年の復習) |
| 2<br>・<br>3<br>下 | P.15 My Voice!<br>「豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう！」 | 「確認しよう」<br>「姿勢と呼吸」「息の流れ」「響かせ方」という3点についてイラストと文章で説明されている。(1, 2学年の復習)  |

教芸

<歌唱に関連する資料>

- 楽譜の背景は、シンプルなイラストが描かれているか、真っ白である。
- キャラクターの吹き出しで発展的な学習内容が示されている。
- 全学年、「ここが分かれば Grade up!」というタイトルで、楽曲に関連した共通事項について考えるための資料のページがある。
- 歌唱共通教材は「心の歌」として示し、その資料として、曲のモチーフになっている場所や景色、植物や自然などの写真やイラストが掲載されている。また、作詞者、作曲者についての写真や説明があり、「作詞者の言葉」「作曲者の言葉」として、曲を作ったときの思いなどを述べた、作詞者、作曲者の言葉が書かれている。
- 全学年、合唱曲集の前に「指揮をしてみよう」というページがある。指揮の仕方を文章やイラストで説明してあり、ページの最後に、例として教科書掲載の合唱曲の指揮の仕方がイラストで示されている。

《具体例》

| 教科書 | 頁とタイトル                    | イラスト及び内容   |
|-----|---------------------------|--|
| 1   | P.11<br>ハ長調の音階と階名         | 「主人は冷たい土の中に(静かに眠れ)」の楽譜の下に、「ハ長調の音階と階名について確認しましょう。」という文章の下に、手順と五線譜が載っており、ハ長調の音階を全音符で五線譜に書き込むようになっている。横にキャラクターの吹き出し(以下、「吹き出し」とする。)あり。 |
|     | P.12<br>ここが分かれば Grade up! | 「主人は冷たい土の中に(静かに眠れ)」の次ページに、「曲の構成～反復と変化～」として記載されている。   |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 教芸 | P.14~15<br>「Michael, Row The Boat Ashore」<br>階名唱について | 「Michael, Row The Boat Ashore」のリズム譜の下に、文章とイラストで歌い方が示してある。吹き出しあり。(P.14)<br>P.15「階名唱について」<br>説明の文章、吹き出しがある。<br>「原語で歌ってみよう！」<br>説明文の下に、原語のリズム譜、歌い方の手順、発音のヒントが文章とイラストで示されている。 |
|    | P.18<br>へ音譜表   | 「パフ」の楽譜の下に、「なぜへ音譜表が必要なのか?」「へ音譜表に慣れましょう。一ハ長調の場合」という文章の下に、へ音譜表の説明、へ音譜表に慣れるための問題(階名を書く)がある。吹き出しあり。   |
|    | P.20 ~21<br>ここが分かれば<br>Grade up!                     | 「朝の風に」の下に、「パートの役割と旋律の重なり方」として記載されている。   |
|    | P.28<br>ここが分かれば<br>Grade up!                         | 「カリブ 夢の旅」の次ページに、「曲の構成~対照~」として記載されている。   |
|    | P.46~47<br>「ソーラン節」                                   | P.46に絵譜と吹き出し。P.47に歌詞、昭和初期のニシン漁の写真、歌う時に気をつけること、節に関する言葉、伊藤多喜雄氏の写真、ソーラン節の説明が記載されている。   |
|    | P.10<br>ここが分かれば<br>Grade up!                         | 「翼をください」の次ページに、「パートの役割と曲の構成」として記載されている。   |
|    | P.17<br>ここが分かれば<br>Grade up!                         | 「夏の日の贈りもの」の次ページに、「旋律の音の動きと強弱」として記載されている。吹き出しあり。   |
|    | P.24~25<br>「サンタ ルチア」                                 | P.24 「カンツォーネについて」説明文がある。<br>P.25 ナポリ湾にそびえるベズビオ山の写真、イタリアの地図がある。<br>「原語で歌ってみよう！」<br>説明文の下に手順、横に吹き出しでイタリア語の発音のポイントが示されている。   |
|    | P.26<br>ここが分かれば<br>Grade up!                         | 「花の季節」の楽譜の下に、「速度の変化」として記載されている。吹き出しあり。  |
|    | P.44~45<br>「長唄『勸進帳』<br>から」                           | P.44に絵譜、唄うときに気をつけること(姿勢のイラスト付き)、吹き出しあり。P.45に歌詞、意味、節に関する言葉、「長唄について」説明や楽譜例、長唄の演奏をしている舞台上の写真が記載されている。  |

|                  |                              |   |
|------------------|------------------------------|---|
| 2<br>・<br>3<br>下 | P.11<br>ここが分かれば<br>Grade up! | 「風の中の青春」の次ページに、「パートの役割」「旋律の音の動きと強弱」として記載されている。  |
|                  | P.17<br>「帰れソレント<br>へ」        | 上半分にナポリ湾に面したソレントの写真, イタリアの地図があり, 下に「同じ音を主音とする長調と短調」という題で, 同主調の説明文と「帰れソレントへ」の冒頭の楽譜, 階名, 吹き出しがある。 |
|                  | P.19<br>「Yesterday」          | 楽譜の下に英語の歌詞, ビートルズの写真と説明, 「Yesterday」についての文章がある。   |
|                  | P.42～43<br>「能『羽衣』から」         | P.42に絵譜, 謡う時に気をつけること(姿勢のイラスト付き), 吹き出しあり。P.43に詞章, 意味, 天界の舞を舞っている天人の写真, 「狂言」についての説明と写真がある。        |

教芸

<鑑賞に関連する資料>

- 作曲家についての説明の隣に, 肖像画が額縁で囲まれ, 絵画のようになって掲載されている。
- 洋楽は, 緑色の枠の中に, 楽曲のキーワードとなるものについての説明があり, 関連する写真や原語の詞と共に掲載されている。(「ソネットについて」「パイプオルガンについて」「交響曲について」「オペラについて」) 主要な楽譜の一部もある。
- 邦楽は, 黄土色の枠の中に, 楽曲のキーワードとなるものについての説明があり, 関連する写真やイラスト, 楽譜や数字譜などと共に掲載されている。(「余韻の変化」「尺八の基本となる音と音域」「長唄について」「管絃について」など)
- 邦楽, 民謡, アジア, 世界の諸民族の音楽を扱うページでは, 代表的な楽器や楽曲の写真が4～5つ, 説明文と共に掲載されている。

<創作に関連する資料>

- 絵譜や楽譜, 文章(歌詞), 工夫点などを書き込むことができるワークシートがある。(2・3下ワークシートなし)
- リズム譜や五線譜と連動しているマス目付の帯譜, 音楽の始まり→中→終わりが意識できるワークシートや音のイメージ図の例がある。



【音楽（一般）】

|    |                          |
|----|--------------------------|
| 観点 | 内容の表現・表記                 |
| 視点 | ⑧本文記述との関連付けがなされたイラスト等の活用 |
| 方法 | キャラクターやマーク等の活用, 楽譜の扱い    |

| 発行者      | 調査・研究内容  |   |                     |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
|----------|--|---|---------------------|-------|-------|------|-------|------|-------|-----|----|--------|--------|---|---|-------|---|---|-------|------|---|---|-------|----------|------|---|---|-------|-----|---|----|-------|-----|---|----|-------|----------|---|---|---|------|------|---|----|-------|-----|----|----------|---|---|----------|--|---------------------|------|---|---------------------|
| 教出       | <p>【キャラクターやマーク等の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3学年を通して3人のキャラクターが登場           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青いジャケットを着て眼鏡をかけた男性（先生役）</li> <li>・ 緑の服を着て髪を二つ結びにしている女の子</li> <li>・ 赤い服に橙の上着を羽織った男の子</li> </ul> </li> <li>○ 登場の仕方           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 眼鏡をかけた男性は「～に気を付けて歌いましょう」や「～みんなで聴き合ってみましょう。」と学習を促すコメントを言っている。</li> <li>・ 女の子や男の子は、「～歌い分けてみよう。」や「～おもしろいね」「～よくわかるわね。」など、生徒の立場に立ったコメントをしている。</li> <li>・ 表現の工夫をするための着目点や学習の具体的アドバイスを呼びかけている。</li> </ul> </li> <li>○ 掲載されているページ数</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>教科書</th> <th>掲載されているページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>20ページ</td> </tr> <tr> <td>2・3上</td> <td>15ページ</td> </tr> <tr> <td>2・3下</td> <td>11ページ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【楽譜の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共通教材の楽譜について</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>教科書</th> <th>曲名</th> <th>縦書きの歌詞</th> <th>伴奏つき楽譜</th> <th>頁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>夏の思い出</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>P. 16</td> </tr> <tr> <td>赤とんぼ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>P. 20</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2・3<br/>上</td> <td>浜辺の歌</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>P. 12</td> </tr> <tr> <td>花の街</td> <td>○</td> <td>なし</td> <td>P. 16</td> </tr> <tr> <td>早春賦</td> <td>○</td> <td>なし</td> <td>P. 18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2・3<br/>下</td> <td>花</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>P. 4</td> </tr> <tr> <td>荒城の月</td> <td>○</td> <td>なし</td> <td>P. 14</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞教材の楽譜について</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>教科書</th> <th>曲名</th> <th>楽譜の提示の仕方</th> <th>頁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>「春 第1楽章」</td> <td>ソネットの始めの部分を提示し、その後のページでメロディーの楽譜を載せている。</td> <td>P. 32<br/>～<br/>P. 35</td> </tr> <tr> <td>「魔王」</td> <td>「魔王」の詩の内容を言葉だけで表し、ページをめくったところに独唱の楽譜を載せている。前奏のピアノ譜以降の旋律は、日本語の歌詞とともに掲載されている。語り、父、子、魔王のマークがそれぞれ歌っている段の頭に付いている。</td> <td>P. 36<br/>～<br/>P. 39</td> </tr> </tbody> </table> | 教科書   | 掲載されているページ数         | 1     | 20ページ | 2・3上 | 15ページ | 2・3下 | 11ページ | 教科書 | 曲名 | 縦書きの歌詞 | 伴奏つき楽譜 | 頁 | 1 | 夏の思い出 | ○ | ○ | P. 16 | 赤とんぼ | ○ | ○ | P. 20 | 2・3<br>上 | 浜辺の歌 | ○ | ○ | P. 12 | 花の街 | ○ | なし | P. 16 | 早春賦 | ○ | なし | P. 18 | 2・3<br>下 | 花 | ○ | ○ | P. 4 | 荒城の月 | ○ | なし | P. 14 | 教科書 | 曲名 | 楽譜の提示の仕方 | 頁 | 1 | 「春 第1楽章」 | ソネットの始めの部分を提示し、その後のページでメロディーの楽譜を載せている。 | P. 32<br>～<br>P. 35 | 「魔王」 | 「魔王」の詩の内容を言葉だけで表し、ページをめくったところに独唱の楽譜を載せている。前奏のピアノ譜以降の旋律は、日本語の歌詞とともに掲載されている。語り、父、子、魔王のマークがそれぞれ歌っている段の頭に付いている。 | P. 36<br>～<br>P. 39 |
|          | 教科書  | 掲載されているページ数   |                     |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 1        | 20ページ  |   |                     |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 2・3上     | 15ページ  |   |                     |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 2・3下     | 11ページ  |   |                     |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 教科書      | 曲名   | 縦書きの歌詞  | 伴奏つき楽譜              | 頁     |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 1        | 夏の思い出  | ○   | ○                   | P. 16 |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
|          | 赤とんぼ   | ○   | ○                   | P. 20 |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 2・3<br>上 | 浜辺の歌   | ○   | ○                   | P. 12 |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
|          | 花の街  | ○   | なし                  | P. 16 |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
|          | 早春賦  | ○   | なし                  | P. 18 |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 2・3<br>下 | 花  | ○   | ○                   | P. 4  |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
|          | 荒城の月   | ○   | なし                  | P. 14 |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 教科書      | 曲名   | 楽譜の提示の仕方  | 頁                   |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
| 1        | 「春 第1楽章」   | ソネットの始めの部分を提示し、その後のページでメロディーの楽譜を載せている。  | P. 32<br>～<br>P. 35 |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |
|          | 「魔王」   | 「魔王」の詩の内容を言葉だけで表し、ページをめくったところに独唱の楽譜を載せている。前奏のピアノ譜以降の旋律は、日本語の歌詞とともに掲載されている。語り、父、子、魔王のマークがそれぞれ歌っている段の頭に付いている。 | P. 36<br>～<br>P. 39 |       |       |      |       |      |       |     |    |        |        |   |   |       |   |   |       |      |   |   |       |          |      |   |   |       |     |   |    |       |     |   |    |       |          |   |   |   |      |      |   |    |       |     |    |          |   |   |          |  |                     |      |   |                     |

|    |  |                 |  |                           |
|----|--|-----------------|--|---------------------------|
| 教出 |  | 「ブルタバ」          | ブルタバ川の流れの様子を表す場面や主題等、いくつかの場面の冒頭部分の楽譜が提示されている。  | P. 48<br>～<br>P. 51       |
|    | 2・3<br>上   | 「小フーガ<br>ト短調」   | 主題と応答が第4声部に出てくるまで楽譜が、同じ大きさの音符で掲載されている。主題には水色の帯、応答にはピンク色の帯が付いている。                       | P. 26<br>～<br>P. 29       |
|    |  | 「交響曲第5番」        | 第1楽章の構成について説明とともに、主題冒頭部の楽譜が掲載されている。動機の部分には、ピンク色の帯が付いている。その後のページで第1楽章の提示部の簡易楽譜が掲載されている。 | P. 30<br>～<br>P. 32-<br>② |
|    |  | 雅楽「越天楽」<br>(平調) | 冒頭部が、竜笛、箏の旋律譜とともに、笙や楽琵琶等の楽器の絵を音楽の流れに乗せて示され、音の重なりを表すような図譜が掲載されている。                      | P. 33-<br>①               |
|    |  | 交響組曲「シェエラザード」から | 第2楽章に現れる主な旋律が、説明とともに冒頭部分のみ掲載されている。   | P. 42<br>～<br>P. 43       |
|    |  | 組曲「展覧会の絵」から     | 特徴的な主な旋律が、説明とともに冒頭部分のみ掲載されている。   | P. 44<br>～<br>P. 47       |
|    | 2・3<br>下   | 「ボレロ」           | 冒頭の部分と主題A、主題Bの始めの部分が掲載されている。   | P. 24<br>～<br>P. 27       |
|    |  | 「アイーダ」          | 第2幕第2場の「凱旋を祝う大合唱」の楽譜が4小節、「凱旋の行進曲」の旋律が6小節掲載されている。                                       | P. 28<br>～<br>P. 31       |
|    |  | 「アランフェス協奏曲」     | 第1, 2, 3楽章の一部を掲載し説明している。   | P. 38<br>～<br>P. 39       |
|    | ○ 主には特徴的な旋律や主題の冒頭部を抜粋し、黒色の音符で掲載されている。着目させたいリズム動機や主題には、水色やピンク色の帯が付いている。その他、歌っている登場人物のマークが楽譜の頭に付いているものもある。 |                 |  |                           |

【キャラクターやマーク等の活用】

- 3学年を通して4人のキャラクターが登場
  - ・ 青い燕尾服を着て眼鏡をかけた男の人
  - ・ 紫色のジャケットを着て黒いスカートをはいた女の人
  - ・ 黄色いシャツに橙のベスト, 黒いズボンをはいた男の子
  - ・ 水色のシャツに緑のベスト, 黒いスカートをはいた女の子
- 登場の仕方
  - ・ 男の人や女の方は, 「～しているね。」と状況を説明したり, 「～してみよう。」と学習を促したコメントをしている。
  - ・ 男の子や女の子は, 「～になったよ。」とか, 「～にしたよ。」と生徒の立場でやってみたら, という立場でのコメントになっている。
  - ・ 表現の工夫をするための着目点や学習の具体的アドバイスを呼びかけている。

- 掲載されているページ数

| 教科書  | 掲載されているページ数 |
|------|-------------|
| 1    | 21ページ       |
| 2・3上 | 13ページ       |
| 2・3下 | 13ページ       |

- 「学習の窓口」として [共通事項] がマークで示され, 「音楽学習マップ」の曲名と教材の左上の学習目標のとなりにマークが示されている。

教芸

【楽譜の扱い】

- 共通教材の楽譜について

| 教科書      | 曲名    | 縦書きの歌詞 | 伴奏つき楽譜 | 頁     |
|----------|-------|--------|--------|-------|
| 1        | 浜辺の歌  | ○      | ○      | P. 16 |
|          | 赤とんぼ  | ○      | ○      | P. 24 |
| 2・3<br>上 | 夏の思い出 | ○      | ○      | P. 12 |
|          | 荒城の月  | ○      | なし     | P. 20 |
| 2・3<br>下 | 花     | ○      | ○      | P. 4  |
|          | 花の街   | ○      | ○      | P. 12 |
|          | 早春賦   | ○      | ○      | P. 22 |

- 鑑賞教材の楽譜について

| 教科書 | 曲名       | 楽譜の提示の仕方   | 頁                   |
|-----|----------|--|---------------------|
| 1   | 「春 第1楽章」 | ソネットの始めの部分を提示し, 繰り返し現れる旋律を薄青の帯で載せてある。  | P. 32<br>～<br>P. 35 |
|     | 「魔王」     | 「魔王」の前奏のピアノ譜を載せ, その後で日本語で旋律に言葉をつけて楽譜を掲載している。語り手という文字と父, 子, 魔王のマークがそれぞれ歌っている楽譜の段の頭に付いている。子が「おとうさんおとうさん…」と歌うだんだん音が高くなって現れる部分に薄青の帯が付いている。 | P. 36<br>～<br>P. 39 |

|    |  |                      |  |                     |  |
|----|--|----------------------|--|---------------------|--|
| 教芸 |  |                      | 別に、伴奏の形の変化を旋律と伴奏という形で載せている。  |                     |  |
|    |  | 箏曲「六段の調」             | 各段の始めの楽譜が五線紙で掲載されている。その次のページに漢数字での楽譜（縦書きと横書き）が載っている。   | P. 40<br>～<br>P. 41 |  |
|    |  | 「単鶴鈴慕」               | 音の高さを図形楽譜で表現している。旋律の流れとともに、速度の変化も言葉で書いてある。   | P. 42<br>～<br>P. 43 |  |
|    | 2・3<br>上   | 「フーガ<br>ト短調」         | 主題と応答がどの声部に現れるのか説明してある。主題は、黒字の音符で書かれており、それ以外の旋律は、薄青色で主題よりは小さめの音符で書かれている。                     | P. 32<br>～<br>P. 33 |  |
|    |  | 「交響曲第5番」             | 第1楽章の提示部から展開部、再現部、コーダの動機について青い帯が付けられている。キャラクターの先生がその説明を吹き出しで書いてある。第2楽章から4楽章まで楽譜を載せて説明がされている。 | P. 34<br>～<br>P. 37 |  |
|    | 2・3<br>下   | 組曲「展覧会の絵」<br>から      | 楽曲についての説明のあと、第2曲、第5曲、第10曲の楽譜が載せられている。  | P. 30<br>～<br>P. 31 |  |
|    |  | 「ブルタバ」               | 楽曲についての説明のあと、標題が付けられた部分に冒頭の楽譜が載っている。   | P. 32<br>～<br>P. 33 |  |
|    |  | 曲の背景を知って、<br>名曲を味わおう | 「レクイエム」ではモーツァルトの直筆楽譜が掲載されている。  | P. 34<br>～<br>P. 35 |  |
|    |  | 平調「越天楽」              | 冒頭の部分として、吹き物、打ち物、弾き物と分類し、楽器の写真を使いながら、五線の楽譜も使い、音楽の流れの中でどのように楽器が使われているかを視覚的に提示してある。            | P. 36<br>～<br>P. 37 |  |
|    |  | 「雅楽」                 | 「箏の唱歌を歌ってみよう」とし、五線の旋律楽譜に唱歌つけ、手の動きを一緒にのせることで拍の流れを表している。また、横に箏本来の縦書き楽譜を載せている。                  | P. 38<br>～<br>P. 39 |  |
|    |  | 「ポピュラー音楽」            | ROCK, JAZZ, BOSSA NOVA それぞれの代表曲のワンフレーズの楽譜が掲載されている。   | P. 46<br>～<br>P. 47 |  |
|    | <p>○ 主には特徴的な旋律や主題の冒頭部を抜粋し、黒色の音符で掲載されている。着目させたいリズム動機や主題には、薄青色の帯が付いている。その他、歌っている登場人物のマークを楽譜の頭に付け、くり返し歌われ登場するたびに音が高くなっていく旋律部分に薄青色の帯を付けているものもある。また、主旋律以外の旋律を薄青色で主題よりは小さめの音符で書かれているものもある。</p> |                      |  |                     |  |

【音楽（一般）】

|    |                              |
|----|------------------------------|
| 観点 | 言語活動の充実                      |
| 視点 | ⑨鑑賞領域における言語活動の工夫             |
| 方法 | 鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例 |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 発行者  | 調査・研究内容  |  |  |
| 教出   | 【鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例】   |  |  |
|  | ○ 鑑賞の視点の提示の仕方<br>曲名の下に横書きで、聴く視点について説明している。<br>《記載例》  |  |  |
|  | 教科書  | 曲名   | 聴く視点   |
|  | 1  | 「春 第1楽章」   | 「春 第1楽章」には、ソネットという短い形の詩が付けられ、春の様子を表しています。A～Eのソネットと音楽の関わりを独奏ヴァイオリンと弦楽合奏による表現から聴き取ってみましょう。                   |
|  | 2・3 上  | 「小フーガ ト短調」   | 「小フーガ ト短調」は、四つの声部による「フーガ」という作曲の方法でつくられています。パイプオルガンの音色や響きとともに、各声部の関わり方を聴き取ってみましょう。                          |
|  | 2・3 下  | 「ボレロ」  | 「ボレロ」は二つの主題を繰り返すことによって楽曲が構成されています。小太鼓で刻まれるボレロのリズムや楽曲全体にわたる強弱の変化を聴き取り、オーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴いてみよう。 |
|  | ○ ワークシートの工夫とその具体例<br>「伝えてみよう！」という枠を設け、自分の考えをみんなに紹介する文章を書く欄が設けてある。記載例は次のとおりであるが、主には、よかったところとそれを選んだ理由を述べるように示したもの、聴き取ったことから感じ取ったことを述べさせて内容をまとめ、自分が考えたよさやおもしろさを紹介文として書かせるもの等がある。<br>《記載例》 |  |  |
|  | 教科書  | 曲名   | 「伝えてみよう！」  |
|  | 1  | 「春 第1楽章」   | ソネットと音楽の関わりで、いちばんおもしろいと思ったところを、みんなに紹介する文章を書いてみよう。  |
|  |  | 箏曲 「六段の調」  | 箏曲「六段の調」を鑑賞して、魅力的だと思ったことをみんなに紹介する文章を書いてみよう。  |
| 2・3 上  | 「小フーガ ト短調」   | パイプオルガンの響きや主題と応答の現れ方などから、「小フーガ ト短調」の魅力をみんなに紹介する文章をを書いてみよう。         |  |
|  | 「交響曲 第5番」  | オーケストラの響きや全楽章に現れるリズムの動機を聴き取り、気に入った楽章について、よかったところや、それを選んだ理由を述べてみよう。 |  |
| 2・3 下  | 「ボレロ」  | 自分が考える「ボレロ」のよさやおもしろさなどを、みんなに紹介してみよう。                               |  |
|  | 「アイーダ」   | 自分にとって、見どころ、聴きどころだと思う場面を選び、その魅力を述べてみよう。                            |  |
| 2・3下 「ボレロ」(P. 25～26)は「伝えてみよう！」の前に「構成を聴き取ってみよう」と「印象に残ったことを整理してみよう」という項目があり、書き込めるようになっている。 |  |  |  |

【鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例】

○ 鑑賞の視点の提示の仕方

曲名の下に、聴く視点を分けて掲載している。

燕尾服の男性と先生役のキャラクターが、吹き出して、聴き比べる視点や「声にはどんな特徴があるか話し合ってみよう。」等話し合う視点を示している。

《記載例》

| 教籍       | 曲名         | 聴く視点  | 吹き出し  | 頁                   |
|----------|------------|---|---|---------------------|
| 1        | 春<br>第1楽章  | ソネットに描かれた情景を、作曲者がどのように音楽で表現しているのかを感じ取って聴きましょう。  | A～Eのそれぞれの情景を、思い浮かべられたかな？  | P. 32<br>～<br>P. 33 |
|          | アジアの諸民族の音楽 | 声や楽器の音色、リズム、速度、旋律などに注目して聴きましょう。   | ・日本の民謡と比べて、声の感じの違いやそれぞれの音楽のよさを感じ取ろう。<br>・箏や尺八と比べて、音色の違いやそれぞれの音楽のよさを感じ取ろう。           | P. 50<br>～<br>P. 51 |
| 2・3<br>上 | 「交響曲 第5番」  | ・主題が繰り返されたり、変化したりする様子に注目して聴きましょう。<br>・オーケストラの豊かな響きを感じ取りましょう。                                      | 第1主題と比べて第2主題はどんな感じになっているかな？<br>★の旋律はどの部分に似ているかな？<br>第1主題が再現されたね。提示部とはどんな響きの違いがあるかな？ | P. 34<br>～<br>P. 35 |
| 2・3<br>下 | ブルタバ       | ・作曲者が記した標題や当時の時代背景を手がかりに、曲に託された思いを感じ取りましょう。<br>・情景がどのように音楽で表現されているのか、旋律や速度、強弱、楽器の音色などに注目して聴きましょう。 | ブルタバを表す(青い部分)に注目して聴いてみよう。   | P. 32<br>～<br>P. 33 |

教芸

○ ワークシートの工夫とその具体例

1年 「魔王」 P. 38

「ここに注目してみよう！」として、「音の高さの変化」に注目させ、

「おとうさん、おとうさん」と子が呼んでいる部分で、音の高さがどのように変化しているのかを調べて書きましょう。

と記した下に、生徒自身が書き込める枠を設けている。その下に

「どうしてそのように変化しているのか、その理由を考えて書きましょう。」

と記し、その下にも生徒自身が書き込める枠を設けている。

2・3下 組曲「展覧会の絵」から P. 31

1ページを使ってStep1～3として、自分の考えを書く欄があり、友達の発表から分かったことを書く欄がある。

Step1では、「プレゼンしたい曲を選び、その曲の特徴や感じ取ったこと、曲のよさをメモしよう。」としてその下に[共通事項]を7つ示し、ポイントを示している。

ポイント・・・音色、速度、旋律、ハーモニー、リズム、曲の構成、強弱

Step2では、「メモしたことをもとにプレゼンしよう」とし、ワークシートを掲載して、書き込めるようになっている。

Step3で、「友達のプレゼンから分かったこと」を書くことができる欄を設けている。

聴き取ったことと、どうしてそのように変化していると思うかの理由を考えたことを分けて記述できるものや、友達と楽曲のよさや特徴をプレゼンテーションし合うために、自分が考えたことと友達のプレゼンテーションから分かったことを記述できるものがある。

【使用実績に関すること】

上記の『魔王』や『組曲「展覧会の絵」』のワークシートが具体的に記載してあることで、生徒が学習の流れを理解することができ、学びを深めることができた。

令和元年 7 月 31 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

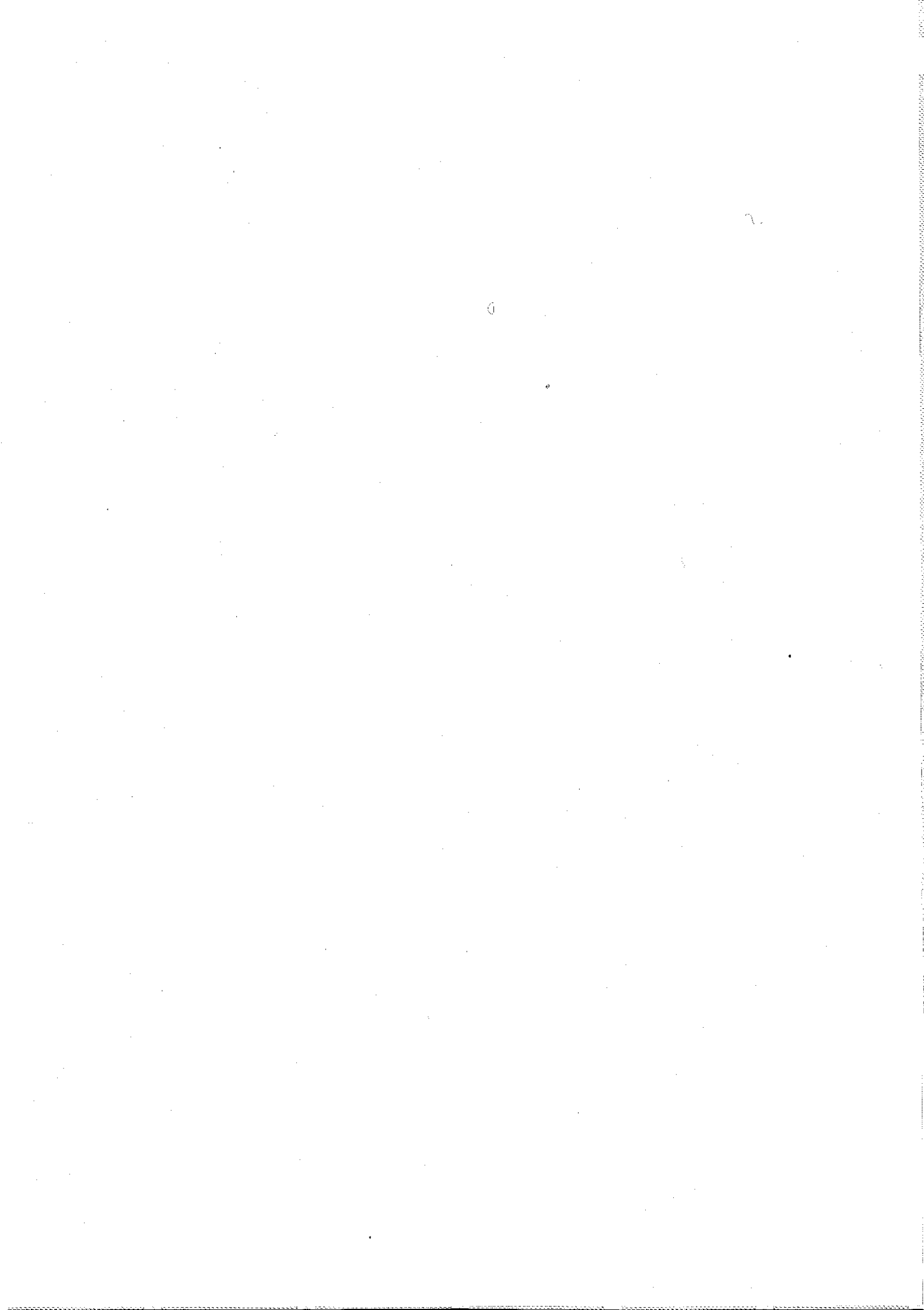
種目 音楽(器楽合奏)

代表者 蒲刈中 学校

氏名 二宮肇美

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。





【音楽（器楽合奏）】

|    |              |
|----|--------------|
| 観点 | 基礎・基本の定着     |
| 視点 | ①題材の目標の示し方   |
| 方法 | 目標の示し方とその具体例 |

| 発行者                 | 調査・研究内容  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
|---------------------|--|---------------|-------------|-----------|-------------|---------------------|------------|------------|-------------|
| 教出                  | <p>【目標の示し方とその具体例】</p> <p>○ 目次における示し方<br/>楽器ごとに名称が示されている。</p> <p>《具体例》</p> <table border="1"> <tr><td>リコーダー</td></tr> <tr><td>ギター</td></tr> <tr><td>箏（こと）</td></tr> <tr><td>三味線</td></tr> <tr><td>篠笛</td></tr> <tr><td>太鼓</td></tr> <tr><td>尺八</td></tr> </table> <p>また、目次に「演奏の仕方を身につけよう」「合わせて演奏しよう」の目標が示されている。</p>   | リコーダー         | ギター         | 箏（こと）     | 三味線         | 篠笛                  | 太鼓         | 尺八         |             |
| リコーダー               |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| ギター                 |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 箏（こと）               |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 三味線                 |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 篠笛                  |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 太鼓                  |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 尺八                  |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 教芸                  | <p>【目標の示し方とその具体例】</p> <p>○ 目次における示し方<br/>楽器ごとに名称が大きく示され、その下に小さな文字で活動が付け加えられている。</p> <p>《具体例》</p> <table border="1"> <tr><td>リコーダー を演奏しよう。</td></tr> <tr><td>ギター を演奏しよう。</td></tr> <tr><td>箏 を演奏しよう。</td></tr> <tr><td>三味線 を演奏しよう。</td></tr> <tr><td>太鼓(長胴太鼓・締太鼓)を演奏しよう。</td></tr> <tr><td>篠笛 を演奏しよう。</td></tr> <tr><td>尺八 を演奏しよう。</td></tr> <tr><td>打楽器 を演奏しよう。</td></tr> </table> <p>また、「アンサンブルセミナー」の中で「曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう。」等の目標が示されている。掲載されている全ての楽器に共通して、「楽器の特徴を知り、その楽器にふさわしい音色や奏法を工夫して表現しましょう。」という題材ごとの目標が示されている。</p> | リコーダー を演奏しよう。 | ギター を演奏しよう。 | 箏 を演奏しよう。 | 三味線 を演奏しよう。 | 太鼓(長胴太鼓・締太鼓)を演奏しよう。 | 篠笛 を演奏しよう。 | 尺八 を演奏しよう。 | 打楽器 を演奏しよう。 |
| リコーダー を演奏しよう。       |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| ギター を演奏しよう。         |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 箏 を演奏しよう。           |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 三味線 を演奏しよう。         |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 太鼓(長胴太鼓・締太鼓)を演奏しよう。 |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 篠笛 を演奏しよう。          |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 尺八 を演奏しよう。          |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |
| 打楽器 を演奏しよう。         |  |               |             |           |             |                     |            |            |             |

【音楽（器楽合奏）】

|    |                      |
|----|----------------------|
| 観点 | 基礎・基本の定着             |
| 視点 | ②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫 |
| 方法 | アルトリコーダー等の導入及び和楽器の扱い |

| 発行者 | 調査・研究内容   |  |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |
|-----|---|--|----|-------|-----------------------------|---------|-------------------------------------|-----------|--------------|-------|--|--------|--------------------------------|-----|--|
| 教出  | <p>【アルトリコーダー等の導入及び和楽器の扱い】</p> <p>○ アルトリコーダー等の導入</p> <p>楽器の紹介，専門家の演奏写真，楽器の各部の名称，姿勢とかまえ方を示す多角的な撮影をした写真等が絵や説明とともに示されている。その後，タンギングの説明，タンギングを意識できる曲や二重奏の練習曲等，創作活動等段階的に掲載されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各部の名称</td> <td>リコーダーのイラストをもとに構造や名称が示されている。</td> </tr> <tr> <td>姿勢とかまえ方</td> <td>写真が3枚。(右斜めから，正面から，プレスしているところを左斜めから)</td> </tr> <tr> <td>指穴の番号と指番号</td> <td>イラストで示されている。</td> </tr> <tr> <td>タンギング</td> <td>2つのイラスト(図A, B)と1つの表(図C)を交えて説明している。図Cで，音域の違いによる発音のイメージの違いをまとめて示している。<br/>「リズム de ゴー」というタンギング練習曲(同じ音で吹く)が掲載されている。</td> </tr> <tr> <td>チューニング</td> <td>説明文あり，「ピッチの調整の仕方」がイラストで示されている。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの，「運指が共通の音の例」が5音示されている。<br/>・曲を吹くために必要な運指が，ページの端に示されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ギターについてもほぼ同様の掲載の仕方である。</p> <p>○ 和楽器の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の最初のページに，演奏家が和楽器を演奏している写真上に，「弾いてみよう」「打ってみよう」「吹いてみよう」(篠笛を除く。)として，演奏家からのメッセージが掲載されている。</li> <li>・楽器の全体像の写真と共に「各部の名称」が示されている。(太鼓は「太鼓の種類」)</li> <li>・「姿勢とかまえ方」が写真と文章で示されている。</li> <li>・「基本的な奏法」「音の出し方」が写真と文章で示されている。</li> <li>・「箏」と「三味線」は，その和楽器の楽曲が鑑賞のポイントを記した文章と共に記載されている。</li> <li>・箏に関しては，縦譜や簡単な練習曲の掲載だけでなく，創作活動にも取り組めるようになっている。</li> </ul> | 項目   | 内容 | 各部の名称 | リコーダーのイラストをもとに構造や名称が示されている。 | 姿勢とかまえ方 | 写真が3枚。(右斜めから，正面から，プレスしているところを左斜めから) | 指穴の番号と指番号 | イラストで示されている。 | タンギング | 2つのイラスト(図A, B)と1つの表(図C)を交えて説明している。図Cで，音域の違いによる発音のイメージの違いをまとめて示している。<br>「リズム de ゴー」というタンギング練習曲(同じ音で吹く)が掲載されている。 | チューニング | 説明文あり，「ピッチの調整の仕方」がイラストで示されている。 | その他 | ・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの，「運指が共通の音の例」が5音示されている。<br>・曲を吹くために必要な運指が，ページの端に示されている。 |
|     | 項目  | 内容   |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |
|     | 各部の名称   | リコーダーのイラストをもとに構造や名称が示されている。  |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |
|     | 姿勢とかまえ方   | 写真が3枚。(右斜めから，正面から，プレスしているところを左斜めから)  |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |
|     | 指穴の番号と指番号   | イラストで示されている。   |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |
|     | タンギング   | 2つのイラスト(図A, B)と1つの表(図C)を交えて説明している。図Cで，音域の違いによる発音のイメージの違いをまとめて示している。<br>「リズム de ゴー」というタンギング練習曲(同じ音で吹く)が掲載されている。 |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |
|     | チューニング  | 説明文あり，「ピッチの調整の仕方」がイラストで示されている。   |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |
|     | その他   | ・ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの，「運指が共通の音の例」が5音示されている。<br>・曲を吹くために必要な運指が，ページの端に示されている。                                     |    |       |                             |         |                                     |           |              |       |  |        |                                |     |  |

| 教出      |  |   |                            |
|---------|--|---|----------------------------|
| 《記載の具体》 |  |   |                            |
| 楽器名     | 姿勢とかまえ方  | 基本的な奏法・音の出し方  | 楽曲数                        |
| 箏       | 角爪、丸爪それぞれに正面から1枚と、上から写した写真1枚ずつ、計4枚。  | 角爪、丸爪それぞれに指先を手前から写した写真1枚と、正面から写した写真1枚ずつ、計4枚。                      | 練習曲<br>…3曲<br>楽曲<br>…3曲    |
| 三味線     | 正面から全身1枚、左斜めから全身1枚、計2枚。<br>次ページに「左手のかまえ方」2枚、「ばちの持ち方」4枚の写真あり。   | ばちを持った手と胴の写真が3枚。(左から順にアップになっていく。)<br>次ページに「勘所の押さえ方」として棹と左手の写真が2枚。 | 練習曲<br>…1曲<br>楽曲<br>…2曲    |
| 篠笛      | 構えている上半身の写真1枚、指のアップが2枚、別のかまえ方を示す写真1枚、計4枚。穴を塞ぐ位置を示したイラスト1枚あり。   | 「吹いてみよう」として、口のアップ1枚、口と篠笛のアップ3枚、計4枚。吹き方のポイントを示したイラストが1枚あり。         | 4曲                         |
| 太鼓      | 「ばちについて」ばちの持ち方の写真5枚。ばちの長さを示した写真1枚。<br>「正対がまえ」長胴太鼓…太鼓と全身の写真5枚、全身のみ1枚、フチ打ち1枚。締太鼓…3枚、桶胴太鼓…2枚、立ち方2枚。<br>「横対がまえ」「右片がまえ」「斜対がまえ」それぞれ3枚ずつ、「田楽がまえ」2枚。 |   | 基本のリズム<br>…4曲<br>楽曲<br>…1曲 |
| 尺八      | 構えている上半身を正面から写した写真1枚。  | 「歌口の当て方」歌口の写真1枚、横顔と歌口2枚。<br>「音の出し方」息を出すときの口の形を示した写真1枚。            | 1曲                         |

和楽器については、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八が扱われており、箏に関しては、縦譜や簡単な練習曲の掲載だけでなく、創作活動にも取り組めるようになっている。

【アルトリコーダー等の導入及び和楽器の扱い】

○ アルトリコーダー等の導入

楽器の紹介，専門家の演奏写真，楽器の各部の名称，姿勢とかまえ方を示す多角的な撮影をした写真等が絵や説明とともに示されている。アルトリコーダーについては，タンギングの説明とそれを意識できる練習曲，LESSON 1～3と段階を踏んで練習曲が掲載されている。

| 項目            | 内容  |
|---------------|---|
| 構造            | リコーダーの写真をもとに構造や名称が示されている。   |
| 姿勢と構え方        | 写真が2枚。(正面から，真横から)<br>・マウスピースのくわえ方の悪い例のイラストが2枚ある。  |
| トーンホールの番号と指番号 | イラストで示されている。  |
| タンギング         | 3つのイラストを交えて説明している。準備→発音→止めまで図で示されている。P.6では，「tu」の発音になれることを示し，低い音，高い音についての発音イメージの違いは，それぞれ低い音と高い音を扱う場面で説明されている。<br>「練習」として，手順と共に，タンギング練習用の楽譜が3つ掲載されている。  |
| チューニング        | 説明文あり，「ピッチの調整の仕方」がイラストで示されている。  |
| その他           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽器の音色を聴いてみよう」として，リコーダーで演奏された楽曲が示されている。</li> <li>・「楽器を知ろう」として，リコーダーの歴史についての説明文がある。(ジョイントのないリコーダーとジョイントのあるリコーダーの写真が掲載されている。)</li> <li>・「種類と音域」として，「ソプラニーノ」から「グレートバス」までの6種類のリコーダーについて，楽器の写真と音域が示されている。</li> <li>・リコーダーの手入れ法や奏法のポイントについて，一問一答形式で示されている。</li> </ul> |

教芸

○ 和楽器の扱い

- ・楽器の最初のページに，演奏家が和楽器を演奏している写真があり，その下に，「楽器の音色を聴いてみよう」として和楽器の楽曲を示し，「楽器を知ろう」として和楽器の歴史や曲の説明が記載されている。
- ・楽器の全体像の写真と共に「構造」が示されている。(太鼓は「種類」。)
- ・「姿勢と構え方」が写真と文章で示されている。
- ・「基本的な奏法」「音の出し方」が写真と文章で示されている。
- ・全楽器に，その和楽器の特徴的な音色や奏法を確認するコラム「音を聴いて確かめよう」がある。

| 《記載の具体》   |  |   |                             |
|---|--|---|-----------------------------|
| 楽器名   | 姿勢と構え方   | 基本的な奏法・音の出し方  | 楽曲数                         |
| 箏   | 角爪, 丸爪それぞれに正面から1枚と, 上から写した写真1枚, 指先の部分を写した小さい写真1枚ずつ, 計6枚。   | 角爪, 丸爪それぞれに指先を手前から写した写真が親指の奏法1枚と中指の奏法1枚ずつ, 計4枚。   | 3曲                          |
| 三味線   | 正座して構えている様子を正面から1枚, 椅子に座って構えている様子を真横から1枚, 胴とばちをアップにした小さい写真1枚, 計3枚。その下に「ばちの持ち方」2枚, 「左手の構え方」2枚の写真あり。                                     | ばちを持った手と胴の写真が3枚。それに付随してばちと糸の様子をアップにした写真2枚ずつ。次ページに「勘所の押さえ方」として棹と左手の写真が1枚。                                  | 練習曲<br>…3曲<br><br>楽曲<br>…1曲 |
| 太鼓  | 「ばちの持ち方」ばちと手の写真3枚。<br>「長胴太鼓」横から1枚, 正面から1枚。<br>「縮太鼓」横から(立奏)1枚。左斜めから(座奏)1枚。  | 「打ち方」<br>「平置き台に置いた場合」…正面からみた上半身の写真1枚, 横からの写真1枚, フチを打っている写真1枚。<br>「檜台に置いた場合」「斜め置き台に置いた場合」それぞれ横から2枚ずつ, 計4枚。 | 練習曲<br>…5曲                  |
| 篠笛  | 「姿勢と構え方」…構えている上半身の写真1枚, 指のアップが1枚, 別のかまえ方を示す写真1枚, 計3枚。悪い持ち方例のイラスト1枚。「指孔のふさぎ方」「口の当て方」1枚ずつ。穴を塞ぐ位置を示したイラスト1枚あり。<br>「音の出し方」…息の流れを示したイラスト1枚。 |   | 2曲                          |
| 尺八  | 「構え方」…構えている上半身を正面から写した写真1枚。<br>「姿勢と音の出し方」<br>…1. 姿勢 尺八を持って, 横から上半身を写した写真1枚<br>2. 口の形と呼吸 横顔の写真2枚。<br>3. 音の出し方 尺八を吹く様子を横から写した写真1枚。       |   | 1曲                          |
| <p>和楽器については, 箏, 三味線, 太鼓, 篠笛, 尺八が扱われており, 箏に関しては, 縦譜や簡単な練習曲, 演奏のポイントが示されている。また, 創作活動にも取り組めるようになっている。</p> <p>【使用実績に関すること】<br/>アルトリコーダーの運指で, 高い音と低い音が比較して記載されているため, 指導しやすく, 生徒自身が自ら気付くこともできた。</p> |  |   |                             |

教芸

【音楽（器楽合奏）】

|    |                         |
|----|-------------------------|
| 観点 | 主体的に学習に取り組む工夫           |
| 視点 | ③興味・関心を高めるための工夫         |
| 方法 | 多様な音楽活動のための資料及び巻頭と巻末の扱い |

| 発行者          | 調査・研究内容   |  |   |
|--------------|---|--|---|
| 教出           | 【多様な音楽活動のための資料及び巻頭と巻末の扱い】   |  |   |
|              | ○ 多様な音楽活動のための資料について<br>「音のスケッチ」と称して、創作活動を促している。   |  |   |
|              | 頁   | 楽器   | 内容  |
|              | P. 7  | アルト<br>リコーダー   | 音を変えても吹けるようになったら、オリジナルの「リズムdeゴー」をつくって演奏してみよう。                 |
| P. 37        | 箏   | 平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう<br>活動1～3まであり、順を追って発表までするようにしてある。  |   |
| P. 68<br>～69 | 篠笛  | 活動3で、下に示した五つの音を使ってオリジナルの「夜空を見上げて」（6小節の旋律）をつくってみよう。             |   |
|              |   |  | 備考  |
|              |   |  | キャラクターの男子の吹き出しで促している。   |
|              |   |  | つくった前奏を書きとめる欄がある。<br>キャラクターの女の子が「前奏に押し手を取り入れてもいいよ。」と奏法に触れている。 |
|              |   |  | 活動1～3まであり、創作を取り入れたアンサンブルに仕上げようとしている。                          |
|              | ○ リコーダーの歴史を伝える「リコーダー・コレクション」(P19)、日本の歴史に沿って楽器の写真と解説のある「日本の楽器と音楽」(P48・48-①・48-②)が掲載されている |  |   |
|              | ○ 「Let's Play!」「Let's Try!」があり、多様な楽器のアンサンブル曲集が掲載されている。P64～P93                           |  |   |
|              | ○ 巻頭と巻末について (全てカラー写真)   |  |   |
|              | 巻頭 口絵①  | With My Heart 「奏でる喜び」として、箏、リコーダー、尺八、ギターの演奏家の写真や言葉が掲載されている。     |   |
|              | 口絵②   | 「発展 制作現場を訪ねて」として、演劇やミュージカル、映画などで使われる音楽の制作の様子を写真とともに説明がしてある。    |   |
|              | P. 98   | With My Heart 「心をこめて」中学生のみなさんへ<br>箏と篠笛のプロの人から、中学生への言葉が掲載されている。 |   |
|              | P. 99～99-①  | リコーダーの運指表  |   |
|              | 巻末 口絵③④   | ギター&キーボード コード表   |   |
|              | 裏表紙   | いろいろな用語、記号   |   |

【多様な音楽活動のための資料及び巻頭と巻末の扱い】

- 多様な音楽活動のための資料について  
「My Melody」で創作活動を促している。P. 31  
「箏を平調子に調弦して旋律をつくろう。」

| 方法   | 内容   | 備考  |
|--|--|---|
| 「この続きの旋律を考えて、糸の名称を枠内に書き込みましょう。」              | 七九八〇の後を書き込めるようにワークシートがある。  | 女性のキャラクターが吹き出して『「さくらさくら」に出てきたリズムを参考にしてもいいね。』と言い、男性のキャラクターが吹き出して、「まとまりのある旋律にするには、終わりの音を五か十にするといいよ。」と創作のアドバイスをしている。 |
| <b>Challenge!!</b><br>「さくらさくら」の前奏をつくってみましょう。 | 手順①<br>どのような桜をイメージしてつくるのかを考える。<br>手順②<br>イメージに合った奏法を選ぶ。<br>書き込める枠が設けてある。 | 手順①②には例が示されていたり、「音の流れを図形で表したり、使う奏法をメモしたりしておこう。・左ページの「いろいろな奏法」を参考にしよう。」と書いてあったり、考えるためのヒントがある。                      |

「曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫して演奏しよう。」 P. 54

「テキーラ」の曲の構成を理解した後 (Step 1), リズムを組み合わせて伴奏をつくり (Step 2), 合わせて演奏するように指示している (Step 3)。

教芸

- 『よい音』は『よい姿勢』から「音を合わせるときのコツ」「音を聴いて確かめよう」「和楽器こぼれ話」のコーナーが掲載されている。

- 「アンサンブルEnsemble」があり、多様な楽器のアンサンブル曲集が掲載されている。

- 巻頭と巻末について (全てカラー写真)

巻頭 口絵1~2 「楽器と出会う一奏者から皆さんへ」と題し、箏、ギター、リコーダー、尺八の演奏家の言葉が掲載されている。

口絵3 「リコーダー、ギターが活躍する曲」として、「ブランデンブルグ協奏曲第4番」と「アランフェス協奏曲」の演奏の写真が掲載されている。

口絵4 「比べてみよう！いろいろな長さの笛」として、さまざまな尺八と篠笛の写真に掲載し、視覚的に比べられるようにしてある。

巻末 口絵5~6 リコーダーの運指表 (ソプラノ・アルト・テノール・バス)

ギターのコード ダイアグラム一覧

(メジャーコード・マイナーコード・セブンスコード マイナーセブンスコード・その他のコード)

口絵7 音符の約束 (音符・休符・記号・用語) の一覧表

口絵8 日本の伝統音楽の楽器編成

(雅楽、能・狂言、歌舞伎、文楽、三曲合奏、郷土の芸能、民謡などに使われる楽器を管楽器、弦楽器、打楽器に分けて写真をのせている。)

【音楽（器楽合奏）】

|    |   |
|----|---|
| 観点 | 主体的に学習に取り組む工夫                             |
| 視点 | ④主体的に活動するための工夫                            |
| 方法 | 生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス及び発展的な学習内容の記述とその具体例 |

| 発行者   | 調査・研究内容  |  |  |       |  |       |  |
|---|--|--|--|-------|--|-------|--|
| 教出  | <p>【生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス及び発展的な学習内容の記述と具体例】</p> <p>《生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス》</p> <p>○ 茶色の四角枠マークで、工夫した演奏法の例や専門用語の説明が示されている。</p> <p>《記載例》</p> <p>アルトリコーダー : フレーズについて P. 11</p> <p>ギター : タブ譜について P. 29</p> <p>箏（こと） : 唱歌について P. 35 など</p> <p>○ 色つきの○印で各楽器の練習曲やアンサンブル曲への取組み目標が示されている。</p> <p>《記載例》</p> <p>左手を使った三つの音を練習してみよう。P. 8</p> <p>速度の変化を生かして、表現を工夫しよう。P. 25 など</p> <p>○ 「演奏のポイント」の項目を掲げ、演奏表現工夫のアドバイスが示されている。</p> <p>《記載箇所》 P. 17, P. 61, P. 75, P. 83, P. 88,</p> <p>○ 練習曲やアンサンブル曲の楽譜の下に太文字で練習の目標や奏法のアドバイスが示されている。</p> <p>《記載例》</p> |  |  |       |  |       |  |
|   | <table border="1"> <tr> <td>P. 25</td> <td>G1の右手の指は i, m, a の中から選んで弾いてみましょう。<br/>G2はコードによる伴奏です。各小節の最初にある低音を、よく響かせてみましょう。<br/>速度の例・・・<b>A</b> ♩=88 ぐらいで弾き始め、<b>B</b> で ♩=120 ぐらいに、曲の終わりで ♩=144 ぐらいになるように accelerando(だんだん速く)します。</td> </tr> <tr> <td>P. 26</td> <td>G1でスラーのついた※の音は、指先で弦を上からすばやく抑えて発音します。G2はアルペジオで弾く伴奏です。アル・アイレ奏法で弾きます。</td> </tr> <tr> <td>P. 38</td> <td>ピッツィカートは、弦名の下に「左」とある場合、「右」とある場合は右手ではじきます（左右の表記がない場合は右手）。<br/>合わせ爪で、中指で弾く弦は弦名の左上に指番号の3がついています。</td> </tr> </table>   | P. 25  | G1の右手の指は i, m, a の中から選んで弾いてみましょう。<br>G2はコードによる伴奏です。各小節の最初にある低音を、よく響かせてみましょう。<br>速度の例・・・ <b>A</b> ♩=88 ぐらいで弾き始め、 <b>B</b> で ♩=120 ぐらいに、曲の終わりで ♩=144 ぐらいになるように accelerando(だんだん速く)します。 | P. 26 | G1でスラーのついた※の音は、指先で弦を上からすばやく抑えて発音します。G2はアルペジオで弾く伴奏です。アル・アイレ奏法で弾きます。 | P. 38 | ピッツィカートは、弦名の下に「左」とある場合、「右」とある場合は右手ではじきます（左右の表記がない場合は右手）。<br>合わせ爪で、中指で弾く弦は弦名の左上に指番号の3がついています。 |
|   | P. 25  | G1の右手の指は i, m, a の中から選んで弾いてみましょう。<br>G2はコードによる伴奏です。各小節の最初にある低音を、よく響かせてみましょう。<br>速度の例・・・ <b>A</b> ♩=88 ぐらいで弾き始め、 <b>B</b> で ♩=120 ぐらいに、曲の終わりで ♩=144 ぐらいになるように accelerando(だんだん速く)します。 |  |       |  |       |  |
|   | P. 26  | G1でスラーのついた※の音は、指先で弦を上からすばやく抑えて発音します。G2はアルペジオで弾く伴奏です。アル・アイレ奏法で弾きます。   |  |       |  |       |  |
| P. 38   | ピッツィカートは、弦名の下に「左」とある場合、「右」とある場合は右手ではじきます（左右の表記がない場合は右手）。<br>合わせ爪で、中指で弾く弦は弦名の左上に指番号の3がついています。   |  |  |       |  |       |  |
| <p>《発展的な学習内容の記述とその具体例》</p> <p><b>発展</b>として「中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。」と目次に明記されている。音楽の制作現場の様子を紹介するページや横笛の製作に挑戦できる手作りの横笛というページが掲載されている。</p> |  |  |  |       |  |       |  |
|   |  |  |  |       |  |       |  |



|   |  |
|---|--|
| <p>教芸</p>   | <p>【生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス及び発展的な学習内容の記述とその具体例】</p> <p>《生徒が主体的に音楽活動をするためのアドバイス》</p> <p>○「ここが分かれば Grade up！」の項目を掲げ、発展的な活動の学習内容が示されている。アーティキュレーションの工夫、パートの役割、曲の構成に着目させ、ステップアップさせながら表現の工夫が進むようになっている。</p> <p>《記載例》</p>   |
|   | <p>P. 51 アーティキュレーションの工夫</p> <p>Step1 「聖者の行進」の最初の部分を例1, 例2のように演奏して表情の違いを感じ取り、どのように演奏したらよいのか考えましょう。</p> <p>Step2 Step1 で考えたことをもとに、友達と話し合いながらアーティキュレーションを最後まで決めて、2つのパートに分かれて演奏しましょう。</p>  |
|   | <p>P. 53 パートの役割</p> <p>Step1 ①のパートは主旋律です。②～④のパートについて、旋律やリズム、音の高さなどの特徴を調べてそれぞれの役割を考え、下のどれに当てはまるか、□にパートの数字を書き込みましょう。</p> <p>Step2 4人以上のグループを作り、Step1 で考えたことをもとに、それぞれのパートにふさわしい楽器を右下の例を参考にして選びましょう。</p> <p>Step3 それぞれのパートの役割を意識して、パートの役割とバランスに気をつけながら演奏しましょう。</p>   |
|   | <p>P. 55 曲の構成</p> <p>Step1 「テキーラ」は次の3つの部分の組み合わせで構成されています。打楽器の入ったCDの演奏を聴いて、それぞれの部分の旋律の違いを確かめながら、曲の構成を感じ取りましょう。</p> <p>Step2 グループに分かれて、(A), (B), (C)それぞれの部分に3～4パートからなるリズム伴奏を考えます。</p> <p>下のリズムパターンを組み合わせ、曲の構成に合ったリズム伴奏を作りましょう。</p> <p>Step3 それぞれにパートにふさわしい楽器を選んで、打楽器の入っていないCDの演奏につくったリズム伴奏を加えて演奏しましょう。</p> |
| <p>《発展的な学習内容の記述とその具体例》</p> <p>発展的学習として、「学習指導要領の示す範囲を超えた学習内容で、必要に応じて学習するものです。」と目次に明記されている。</p> <p>巻頭に「楽器と出会う一奏者から皆さんへ」と題し、箏、ギター、リコーダー、尺八の若手演奏家の写真と生徒に向けたコメントが掲載されている。</p> <p>【使用実績に関すること】</p> <p>どの曲も演奏しやすく、グループ活動などで、技術を高め合う学習に適していた。</p> |  |

【音楽（器楽合奏）】

|    |             |
|----|-------------|
| 観点 | 内容の構成・配列・分量 |
| 視点 | ⑤教材数や配列     |
| 方法 | 教材数及び教材の配列  |

| 発行者 | 調査・研究内容  |             |         |         |  |                                |      |      |  |
|-----|--|-------------|---------|---------|--|--------------------------------|------|------|--|
| 教出  | 【教材数及び教材の配列】   |             |         |         |  |                                |      |      |  |
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー、ギター、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八の7種類を扱っている。</li> <li>・基礎学習用の曲は、練習曲→独奏曲→二重奏曲（合奏曲）の順で配列されている。</li> </ul> |             |         |         |  |                                |      |      |  |
|     |  | 楽器名         | 基礎学習用曲数 |         |  | 応用曲数 (Let's Play!, Let's Try!) |      |      |  |
|     |  | リコーダー       | 計       | 18      |  | 計                              | 7    |      |  |
|     |  |             | 内訳      |         |  | 内訳                             |      |      |  |
|     |  |             | 練習曲     | 独奏曲     | 二重奏曲                                   | 二重奏曲                           | 三重奏曲 | 四重奏曲 |  |
|     |  |             | 1       | 8       | 9                                      | 5                              | 1    | 1    |  |
|     |  | ギター         | 計       | 9       |  | 三重奏曲 1                         |      |      |  |
|     |  |             | 内訳      |         |  |                                |      |      |  |
|     |  |             | 練習曲     | 独奏曲     | 二重奏曲                                   |                                |      |      |  |
|     |  |             | 3       | 3       | 3                                      |                                |      |      |  |
|     |  | 箏           | 計       | 5 (6) ※ |  | 二重奏曲 3                         |      |      |  |
|     |  |             | 内訳      |         |  |                                |      |      |  |
|     |  |             | 練習曲     | 独奏曲     | 二重奏曲                                   |                                |      |      |  |
|     |  |             | 2       | 1       | 2 (3) ※                                |                                |      |      |  |
|     |  | 三味線         | 計       | 5       |  | 二重奏曲 1                         |      |      |  |
|     |  |             | 内訳      |         |  |                                |      |      |  |
|     |  |             | 練習曲     | 独奏曲     | 合奏曲                                    |                                |      |      |  |
|     |  |             | 3       | 1       | 1                                      |                                |      |      |  |
|     |  | 篠笛          | 独奏曲 4   |         |  | 計                              | 3    |      |  |
|     |  |             |         |         | 内訳                                     |                                |      |      |  |
|     |  |             |         |         | 独奏曲                                    | 三重奏曲                           |      |      |  |
|     |  |             |         |         | 2                                      | 1                              |      |      |  |
|     | 太鼓   | 計           | 5       |         | 三重奏曲 2                                 |                                |      |      |  |
|     |  | 内訳          |         |         | 但し、演奏について太鼓の指示は無い。(ボディパーカッションの曲として提示。) |                                |      |      |  |
|     |  | 練習曲         | 合奏曲     |         |  |                                |      |      |  |
|     |  | 4           | 1       |         |  |                                |      |      |  |
|     | 尺八   | 独奏曲 1       |         |         | 0                                      |                                |      |      |  |
|     | 合奏(複数の楽器)  | /           |         |         | 計                                      | 5                              |      |      |  |
|     |  |             |         |         | 内訳                                     |                                |      |      |  |
|     |  |             |         |         | リコーダーと伴奏                               | 二重奏曲                           | 1    |      |  |
|     |  |             |         |         |  | 三重奏曲                           | 2    |      |  |
|     |  |             |         |         | 器楽合奏(楽器指定無)                            | 五重奏曲                           | 1    |      |  |
|     |  | 器楽合奏(楽器指定有) | 七重奏曲    | 1       |  |                                |      |      |  |
|     | 名曲旋律集  | /           |         |         | 独奏曲 10                                 |                                |      |      |  |
|     |  |             |         |         |  |                                |      |      |  |

教芸

【教材数及び教材の配列】

- ・リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器の8種類を扱っている。
- ・基礎学習用の曲は、練習曲・独奏曲→二重奏曲（三重奏曲）の順に配列されている。

| 楽器名        | 基礎学習用曲数   |     |        |   | 応用曲数（アンサンブルセミナー、アンサンブル）            |      |      |  |  |
|------------|-----------|-----|--------|---|------------------------------------|------|------|--|--|
|            | 計         | 内訳  |        |   | 計                                  | 内訳   |      |  |  |
| リコーダー      | 計         | 25  |        |   | 計                                  | 5    |      |  |  |
|            | 内訳        |     |        |   | 内訳                                 |      |      |  |  |
|            | 練習曲       | 独奏曲 | 二重奏曲   |   | 二重奏曲                               | 三重奏曲 | 四重奏曲 |  |  |
|            | 10        | 10  | 5      |   | 3                                  | 1    | 1    |  |  |
| ギター        | 計         | 6   |        |   | 三重奏曲 1                             |      |      |  |  |
|            | 内訳        |     |        |   |                                    |      |      |  |  |
|            | 練習曲       | 独奏曲 | 三重奏曲   |   |                                    |      |      |  |  |
|            | 3         | 2   | 1      |   |                                    |      |      |  |  |
| 箏          | 独奏曲 3     |     |        |   | 二重奏曲 1                             |      |      |  |  |
| 三味線        | 計         | 4   |        |   | 0                                  |      |      |  |  |
|            | 内訳        |     |        |   |                                    |      |      |  |  |
|            | 練習曲       | 独奏曲 |        |   |                                    |      |      |  |  |
|            | 3         | 1   |        |   |                                    |      |      |  |  |
| 太鼓         | 練習曲 5     |     |        |   | 二重奏曲 1                             |      |      |  |  |
| 篠笛         | 独奏曲 2     |     |        |   | 0                                  |      |      |  |  |
| 尺八         | 独奏曲 1     |     |        |   | 0                                  |      |      |  |  |
| 打楽器（12種）   | 練習曲 20    |     |        |   | 六重奏曲 1                             |      |      |  |  |
|            | 内訳        |     |        |   | 但し、演奏について楽器の指示は無い。(楽器を選択するための例が表示) |      |      |  |  |
|            | クラバス      | 1   | カスタネット | 2 |                                    |      |      |  |  |
|            | シェカー      | 1   | タンブリン  | 2 |                                    |      |      |  |  |
|            | カハベル      | 1   | 鈴      | 1 |                                    |      |      |  |  |
|            | アゴゴ       | 2   | シンバル   | 2 |                                    |      |      |  |  |
|            | ボンゴ       | 2   | 小太鼓    | 2 |                                    |      |      |  |  |
|            | コンガ       | 2   | 大太鼓    | 2 |                                    |      |      |  |  |
|            | 合奏(複数の楽器) |     |        |   |                                    | 計    | 12   |  |  |
| 内訳         |           |     |        |   |                                    |      |      |  |  |
| リコーダーと他の楽器 |           |     |        |   |                                    | 二重奏曲 | 1    |  |  |
|            |           |     |        |   |                                    | 三重奏曲 | 4    |  |  |
|            |           |     |        |   |                                    | 四重奏曲 | 1    |  |  |
| 器楽合奏       |           |     |        |   |                                    | 三重奏曲 | 1    |  |  |
|            |           |     |        |   |                                    | 四重奏曲 | 1    |  |  |
|            | 五重奏曲      | 2   |        |   |                                    |      |      |  |  |
| 和楽器        | 三重奏曲      | 2   |        |   |                                    |      |      |  |  |
| 名曲スケッチ     |           |     |        |   | 独奏曲 9                              |      |      |  |  |

【音楽（器楽合奏）】

|    |                          |
|----|--------------------------|
| 観点 | 内容の表現・表記                 |
| 視点 | ⑥本文記述との関連付けがなされたイラスト等の活用 |
| 方法 | 効果的な挿絵，写真等の視覚資料の扱い       |

| 発行者 | 調査・研究内容   |  |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|-----|---|--|-------------------|-------|--|-----|--|---|--|-----|--|----|--|----|--------------------------------|----|--|
| 教出  | <p>【効果的な挿絵，写真等の視覚資料の扱い】</p> <p>楽器の奏法について，写真や図などを用いて説明がしてあるものを下の表に示した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>楽器名</th> <th>効果的な視覚資料を用いた奏法の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リコーダー</td> <td>指穴の番号と指番号，チューニングの仕組み，歌口の啞え方，タンギングの仕組み，サミングなどは，それぞれイラストを用いて説明がされている。<br/>タンギングの時の舌（口腔内）の様子が，図を使って示してある。<br/>チューニングの仕方（ピッチの上げ下げ）が，図と矢印で示してある。<br/>曲中の音の運指がリコーダーのイラストを用いて，各項の端に縦並びに示されている。<br/>項中央に男の子のイラストが掲載されている。吹き出しにより一言コメント（アドバイス）を添えている。</td> </tr> <tr> <td>ギター</td> <td>着色した弦を張ったり，はじく弦の方向の矢印を加えたりした写真が掲載されている。<br/>楽譜の上段にコードの押さえ方がイラストを用いて説明されている。</td> </tr> <tr> <td>箏</td> <td>流派によって異なる座り方の写真が，並べて比較掲載されている。<br/>親指による基本的な奏法の説明では，写真に矢印が加えられている。<br/>その他の指や爪の使い方も，同様に矢印付きの写真が用いられている。<br/>項中央に男の子のイラストが掲載されている。吹き出しにより一言コメント（アドバイス）を添えている。<br/>3つの曲において，曲ごとに，左項に五線譜と併せて右項に縦譜が記されている。</td> </tr> <tr> <td>三味線</td> <td>手やばち，糸の張り方，駒のつけ方など部分的な写真に矢印が加えられて掲載されている。<br/>勘所の目安が，イラストを用いて説明してある。<br/>サワリの説明に糸巻付近の拡大写真が掲載されている。</td> </tr> <tr> <td>篠笛</td> <td>楽器に対する息の入れ方（吹き方）を，矢印付きの図でイメージさせている。<br/>運指について篠笛のイラストと五線を用いて示されている。</td> </tr> <tr> <td>太鼓</td> <td>ばちの動かし方が，矢印によって示された写真が掲載されている。</td> </tr> <tr> <td>尺八</td> <td>口の形や息・音の出し方，歌口の様子を示した部分的な写真が掲載されている。<br/>口の当て方の説明では，顔の真横からの写真で説明してある。<br/>運指について尺八のイラストを用いて示されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 楽器のかまえ方や姿勢，タンギングについてや弦の弾き方，ばちの持ち方等の説明が，違う角度から見た複数の写真，着色した弦を用いた楽器の写真や図，言葉等で示されている。例えば，姿勢については，正しい姿勢でかませた写真と共に「背筋を伸ばそう」の言葉が添えられていたり，弦を弾く方向が矢印で示されていたりする。</p> | 楽器名  | 効果的な視覚資料を用いた奏法の説明 | リコーダー | 指穴の番号と指番号，チューニングの仕組み，歌口の啞え方，タンギングの仕組み，サミングなどは，それぞれイラストを用いて説明がされている。<br>タンギングの時の舌（口腔内）の様子が，図を使って示してある。<br>チューニングの仕方（ピッチの上げ下げ）が，図と矢印で示してある。<br>曲中の音の運指がリコーダーのイラストを用いて，各項の端に縦並びに示されている。<br>項中央に男の子のイラストが掲載されている。吹き出しにより一言コメント（アドバイス）を添えている。 | ギター | 着色した弦を張ったり，はじく弦の方向の矢印を加えたりした写真が掲載されている。<br>楽譜の上段にコードの押さえ方がイラストを用いて説明されている。 | 箏 | 流派によって異なる座り方の写真が，並べて比較掲載されている。<br>親指による基本的な奏法の説明では，写真に矢印が加えられている。<br>その他の指や爪の使い方も，同様に矢印付きの写真が用いられている。<br>項中央に男の子のイラストが掲載されている。吹き出しにより一言コメント（アドバイス）を添えている。<br>3つの曲において，曲ごとに，左項に五線譜と併せて右項に縦譜が記されている。 | 三味線 | 手やばち，糸の張り方，駒のつけ方など部分的な写真に矢印が加えられて掲載されている。<br>勘所の目安が，イラストを用いて説明してある。<br>サワリの説明に糸巻付近の拡大写真が掲載されている。 | 篠笛 | 楽器に対する息の入れ方（吹き方）を，矢印付きの図でイメージさせている。<br>運指について篠笛のイラストと五線を用いて示されている。 | 太鼓 | ばちの動かし方が，矢印によって示された写真が掲載されている。 | 尺八 | 口の形や息・音の出し方，歌口の様子を示した部分的な写真が掲載されている。<br>口の当て方の説明では，顔の真横からの写真で説明してある。<br>運指について尺八のイラストを用いて示されている。 |
|     | 楽器名   | 効果的な視覚資料を用いた奏法の説明  |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|     | リコーダー   | 指穴の番号と指番号，チューニングの仕組み，歌口の啞え方，タンギングの仕組み，サミングなどは，それぞれイラストを用いて説明がされている。<br>タンギングの時の舌（口腔内）の様子が，図を使って示してある。<br>チューニングの仕方（ピッチの上げ下げ）が，図と矢印で示してある。<br>曲中の音の運指がリコーダーのイラストを用いて，各項の端に縦並びに示されている。<br>項中央に男の子のイラストが掲載されている。吹き出しにより一言コメント（アドバイス）を添えている。 |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|     | ギター   | 着色した弦を張ったり，はじく弦の方向の矢印を加えたりした写真が掲載されている。<br>楽譜の上段にコードの押さえ方がイラストを用いて説明されている。   |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|     | 箏   | 流派によって異なる座り方の写真が，並べて比較掲載されている。<br>親指による基本的な奏法の説明では，写真に矢印が加えられている。<br>その他の指や爪の使い方も，同様に矢印付きの写真が用いられている。<br>項中央に男の子のイラストが掲載されている。吹き出しにより一言コメント（アドバイス）を添えている。<br>3つの曲において，曲ごとに，左項に五線譜と併せて右項に縦譜が記されている。                                       |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|     | 三味線   | 手やばち，糸の張り方，駒のつけ方など部分的な写真に矢印が加えられて掲載されている。<br>勘所の目安が，イラストを用いて説明してある。<br>サワリの説明に糸巻付近の拡大写真が掲載されている。   |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|     | 篠笛  | 楽器に対する息の入れ方（吹き方）を，矢印付きの図でイメージさせている。<br>運指について篠笛のイラストと五線を用いて示されている。   |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|     | 太鼓  | ばちの動かし方が，矢印によって示された写真が掲載されている。   |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |
|     | 尺八  | 口の形や息・音の出し方，歌口の様子を示した部分的な写真が掲載されている。<br>口の当て方の説明では，顔の真横からの写真で説明してある。<br>運指について尺八のイラストを用いて示されている。   |                   |       |  |     |  |   |  |     |  |    |  |    |                                |    |  |

【効果的な挿絵、写真等の視覚資料の扱い】

| 楽器名   | 効果的な視覚資料を用いた奏法の説明  |
|-------|--|
| リコーダー | トーンホールと指番号、チューニングの仕組み、歌口の啞え方、タンギングの仕組み、サミングなどは、それぞれ図を用いて説明がされている。<br>タンギングの時の舌(口腔内)の様子が、図を使って示してある。<br>チューニングの仕方(ピッチの上げ下げ)が、図と矢印で示してある。                        |
| ギター   | 弦のはじき方(はじく位置や向き)が、写真に矢印を加えて示されている。<br>チューナーの写真には、メーターの動きが矢印により示されている。<br>コードの押さえ方、指番号、奏法などはイラストを用いて説明されている。  |
| 箏     | 流派によって異なる座り方の写真が、並べて比較掲載されている。<br>親指による基本的な奏法の説明では、写真に矢印が加えられている。<br>その他の指や爪の使い方も、同様に矢印付きの写真が用いられている。<br>スーツ姿の女性と、燕尾服姿の男性のイラストが示され、吹き出しにより一言コメント(アドバイス)を添えている。 |
| 三味線   | 右腕を乗せる位置の正誤が、写真中の○×により示されている。<br>三線と三弦の写真が掲載され、三味線との違いが説明されている。<br>勘所の目安が、イラストを用いて説明してある。<br>サワリの説明に糸巻付近の拡大写真が掲載されている。   |
| 太鼓    | 長胴太鼓と締太鼓の写真が掲載され、違いが説明されている。<br>フチを打つ場合や、音がよく響く場所の説明に簡単な図が用いられている。   |
| 篠笛    | 指の形や指孔のふさぎ方、口の形などの説明が、写真の横にイラストで示してある。<br>運指について篠笛のイラストを用いて示されている。   |
| 尺八    | 口の形や息・音の出し方、歌口の様子を示した部分的な写真に矢印が加えられて掲載されている。<br>運指について尺八のイラストを用いて示されている。   |
| その他   | 12種類の打楽器について1~2枚、多いもので7枚の写真に掲載して、その楽器の持ち方や奏法が示してある。  |

教芸

- 楽器の構え方や姿勢、タンギングについてや弦の弾き方、ばちの持ち方等の説明が、違う角度から見た複数の写真や違う色を付けた線や図、言葉等で示されている。例えば、姿勢については、正しい姿勢で構えた写真と共に「背筋を伸ばす」の言葉が添えられていたり、弦を弾く方向が矢印で示されていたりする。

【音楽（器楽合奏）】

|    |                         |
|----|-------------------------|
| 観点 | 言語活動の充実                 |
| 視点 | ⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫     |
| 方法 | 表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例 |

| 発行者  | 調査・研究内容  |       |   |  |       |   |       |   |       |  |       |  |       |
|--|--|-------|---|--|-------|---|-------|---|-------|--|-------|--|-------|
| 教出   | <p>【表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例】</p> <p>○ 「演奏のポイント」があり、演奏する楽曲にふさわしい演奏をするために、どのように考えて何を工夫すればよいのかのヒントが示されている。</p> <p>《記載例》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記述内容</th> <th>頁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には歌うようにたっぷりと吹きますが、フレーズによっては、曲想に合ったアーティキュレーションを選び、ふさわしい表現を工夫してみましょう。</li> <li>・タイで結ばれた音符は十分に響かせますが、その後でプレスをしないようにします。</li> <li>・アーティキュレーションを生かした表現のための奏法として、ノンレガート奏法、スタッカート奏法、テヌート奏法、レガート奏法が掲載されている。</li> </ul> </td> <td>P. 17</td> </tr> <tr> <td> <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番頭と二番頭の演奏の順番や回数を自由に構成してみましょう。</li> <li>・強弱の設定を工夫して演奏してみましょう。</li> </ul> </td> <td>P. 61</td> </tr> <tr> <td> <p>【演奏のポイント】</p> <p>「聖アントニー・コラール」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンギングはやわらかく、なだらかな旋律の形を意識しましょう。</li> <li>・低音域は息の圧力を安定させ、穏やかな気持ちで吹きましょう。</li> </ul> <p>「キエフの大門」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には一音一音はっきりと吹きますが、タンギング乱暴にならないようにしましょう。</li> <li>・強弱をつけたときに、音程が不安定にならないようにしましょう。</li> </ul> </td> <td>P. 75</td> </tr> <tr> <td> <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・④の合せ爪は親指と中指で弾きますが、そのときに右手の薬指を、中指で弾く弦の一つ手前の弦にかけるようにしましょう。</li> <li>・⑥のグリッサンドは、中指で二から為までの全ての弦を弾くと、巾の弦への到達が遅れがちになります。したがって、グリッサンドは九か十の弦までとし、巾の弦を親指で正確にしっかりと弾けるようにします。</li> </ul> </td> <td>P. 83</td> </tr> <tr> <td> <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①のパートは十六分音符を急がずにしっかりと、②と③のパートはリズムを体で感じながら正確に演奏しましょう。</li> <li>・全体的に歯切れよく演奏しましょう。</li> </ul> </td> <td>P. 88</td> </tr> </tbody> </table> | 記述内容  | 頁 | <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には歌うようにたっぷりと吹きますが、フレーズによっては、曲想に合ったアーティキュレーションを選び、ふさわしい表現を工夫してみましょう。</li> <li>・タイで結ばれた音符は十分に響かせますが、その後でプレスをしないようにします。</li> <li>・アーティキュレーションを生かした表現のための奏法として、ノンレガート奏法、スタッカート奏法、テヌート奏法、レガート奏法が掲載されている。</li> </ul> | P. 17 | <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番頭と二番頭の演奏の順番や回数を自由に構成してみましょう。</li> <li>・強弱の設定を工夫して演奏してみましょう。</li> </ul> | P. 61 | <p>【演奏のポイント】</p> <p>「聖アントニー・コラール」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンギングはやわらかく、なだらかな旋律の形を意識しましょう。</li> <li>・低音域は息の圧力を安定させ、穏やかな気持ちで吹きましょう。</li> </ul> <p>「キエフの大門」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には一音一音はっきりと吹きますが、タンギング乱暴にならないようにしましょう。</li> <li>・強弱をつけたときに、音程が不安定にならないようにしましょう。</li> </ul> | P. 75 | <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・④の合せ爪は親指と中指で弾きますが、そのときに右手の薬指を、中指で弾く弦の一つ手前の弦にかけるようにしましょう。</li> <li>・⑥のグリッサンドは、中指で二から為までの全ての弦を弾くと、巾の弦への到達が遅れがちになります。したがって、グリッサンドは九か十の弦までとし、巾の弦を親指で正確にしっかりと弾けるようにします。</li> </ul> | P. 83 | <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①のパートは十六分音符を急がずにしっかりと、②と③のパートはリズムを体で感じながら正確に演奏しましょう。</li> <li>・全体的に歯切れよく演奏しましょう。</li> </ul> | P. 88 |
|  | 記述内容   | 頁     |   |  |       |   |       |   |       |  |       |  |       |
|  | <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には歌うようにたっぷりと吹きますが、フレーズによっては、曲想に合ったアーティキュレーションを選び、ふさわしい表現を工夫してみましょう。</li> <li>・タイで結ばれた音符は十分に響かせますが、その後でプレスをしないようにします。</li> <li>・アーティキュレーションを生かした表現のための奏法として、ノンレガート奏法、スタッカート奏法、テヌート奏法、レガート奏法が掲載されている。</li> </ul>   | P. 17 |   |  |       |   |       |   |       |  |       |  |       |
|  | <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番頭と二番頭の演奏の順番や回数を自由に構成してみましょう。</li> <li>・強弱の設定を工夫して演奏してみましょう。</li> </ul>  | P. 61 |   |  |       |   |       |   |       |  |       |  |       |
|  | <p>【演奏のポイント】</p> <p>「聖アントニー・コラール」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンギングはやわらかく、なだらかな旋律の形を意識しましょう。</li> <li>・低音域は息の圧力を安定させ、穏やかな気持ちで吹きましょう。</li> </ul> <p>「キエフの大門」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には一音一音はっきりと吹きますが、タンギング乱暴にならないようにしましょう。</li> <li>・強弱をつけたときに、音程が不安定にならないようにしましょう。</li> </ul>  | P. 75 |   |  |       |   |       |   |       |  |       |  |       |
|  | <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・④の合せ爪は親指と中指で弾きますが、そのときに右手の薬指を、中指で弾く弦の一つ手前の弦にかけるようにしましょう。</li> <li>・⑥のグリッサンドは、中指で二から為までの全ての弦を弾くと、巾の弦への到達が遅れがちになります。したがって、グリッサンドは九か十の弦までとし、巾の弦を親指で正確にしっかりと弾けるようにします。</li> </ul>   | P. 83 |   |  |       |   |       |   |       |  |       |  |       |
| <p>【演奏のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①のパートは十六分音符を急がずにしっかりと、②と③のパートはリズムを体で感じながら正確に演奏しましょう。</li> <li>・全体的に歯切れよく演奏しましょう。</li> </ul> | P. 88  |       |   |  |       |   |       |   |       |  |       |  |       |

○ 合わせて演奏しよう (Let's Play! Let's Try!) 等に掲載されている楽曲名の下に、演奏するにあたっての注意点が示されている。

《記載例》

| 記述内容   | 頁     |
|--|-------|
| 主旋律と他の旋律との関わりを意識して表現しよう。   | P. 64 |
| 主旋律を確かめ、全体の響きを感じ取って合わせて表現しよう。  | P. 67 |
| 星が美しく見える夜空を思い浮かべて演奏してみましょう。  | P. 69 |
| 主旋律を生かして表現を工夫しよう。  | P. 88 |
| ソプラニーノ・リコーダーは、アルト・リコーダーより1オクターヴ高い音が出ます。この曲では、アルト・リコーダーのパートを吹くときと同じ運指を、ソプラニーノ・リコーダーにも用いて演奏してください。 | P. 91 |

教出

【表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例】

- アンサンブル（アンサンブル曲集）では、掲載曲全てに、各楽曲にふさわしい演奏をするためには、どのように考えて何を工夫すればよいのかのヒントが示されている。
- アーティキュレーションを使って演奏しようのところで、スタッカート奏法、ノンレガート奏法、ポルタート奏法、レガート奏法が掲載されている。

《記載例》

| 記述内容   | 頁     |
|--|-------|
| 主旋律（A1）に対して、A2がどのように重なっているかを考え、その効果を味わいながら演奏しましょう。             | P. 56 |
| 原曲のイメージを大切に、フレーズ感を生かしながら、アーティキュレーションを工夫して演奏しましょう。              | P. 57 |
| 他のパートをよく聴きながら、それぞれの音の高さに適した息の強さを工夫して、美しいハーモニーをつくり出しましょう。       | P. 58 |
| 曲の構成を理解し、和音の変化を感じ取りながら、パート間の音量のバランスに気をつけて演奏しましょう。              | P. 59 |
| 拍や打楽器のリズムにのって旋律のリズムをしっかりとそろえ、曲想に合ったアーティキュレーションを工夫して演奏しましょう。    | P. 60 |
| 曲全体の構成を理解し、旋律の掛け合いや音の重なり方に注目しながら、曲想にふさわしい表現を工夫しましょう。           | P. 61 |
| 特にスタッカートやスラーに注目してアーティキュレーションを工夫しながら、途中からの曲想の変化を表現しましょう。        | P. 62 |
| 主旋律のリズムの反復や音の高さの変化に注目しながら、曲想を感じ取って演奏しましょう。また、リズム伴奏も工夫してみましょう。  | P. 64 |
| リコーダーのリズムをそろえて、和音の変化を感じ取りながら演奏しましょう。また、装飾的な音が生み出す効果を味わいましょう。   | P. 68 |
| 曲の前半部分と後半部分それぞれの曲想やその変化を感じ取り、各パートの役割や音量のバランスを考えて演奏しましょう。       | P. 70 |
| 曲全体の構成を理解し、各部分の特徴を感じ取って演奏しましょう。またP. 54を参考に、リズム伴奏を加えて演奏してみましょう。 | P. 72 |
| 主旋律の音の動きやリズムの特徴、各パートの役割などを理解して、曲想にふさわしい表現を工夫しましょう。             | P. 74 |
| リズムの変化の効果を感じ取って演奏しましょう。ウの部分、手拍子1の2小節のリズムを、手拍子2がまねて打ってもよいでしょう。  | P. 76 |
| 音色を考えながら楽器の組み合わせ方を工夫し、音の重ね方やさまざまな音色の交替によって生まれるおもしろさを味わいましょう。   | P. 78 |
| いろいろな奏法による音色の違いを感じ取りましょう。また、互いのパートの音をよく聴き合いながらアンサンブルをしましょう。    | P. 80 |
| 地打ちと表打ちの役割を考えてバランスを工夫しましょう。また、アとイの曲想の違いを感じ取ってアンサンブルをしましょう。     | P. 81 |
| 旋律やリズムの特徴を生かした表現を工夫しましょう。強弱の変化や各パートの音量のバランスに気をつけて演奏しましょう。      | P. 82 |
| 長唄の演奏を通して、日本の伝統音楽特有のリズムや、速度の変化を感じとりましょう。                       | P. 84 |



|  |   |       |
|--|---|-------|
| 教芸   | <p>○ 発展的な活動につながる記述<br/>         発展的な学習となり演奏の工夫につながる記述がある。<br/>         「ここが分かれば Grade Up.!!」<br/>         《記載例》</p>   |       |
|  | 発展的な活動につながる記述   | 頁     |
|  | <p>○アーティキュレーションの工夫<br/>         Step1<br/>         ・「聖者の行進」の最初の部分を例1(スタッカート奏法), 例2(ポルタート奏法)のように演奏して表情の違いを感じ取り, どのように演奏したらよいかを考えましょう。<br/>         Step2<br/>         ・Step1で考えたことをもとに, 友達と話し合いながらアーティキュレーションを最後まで決めて, 2つのパートに分かれて演奏しましょう。<br/>         ※アーティキュレーションを工夫することで, より表情豊かな演奏をすることができます。<br/> <b>Challenge!!</b><br/>         「名曲スケッチ」でも, アーティキュレーションを工夫して演奏してみましょう。</p>                                   | P. 51 |
|  | <p>○パートの役割<br/>         Step1<br/>         ・①のパートは主旋律です。②～④のパートについて, 旋律やリズム, 音の高さなどの特徴を調べてそれぞれの役割を考え, 下のどれに当てはまるか, □にパートの数字を書き込みましょう。<br/>         Step2<br/>         ・4人以上のグループを作り, Step1で考えたことをもとに, それぞれのパートにふさわしい楽器を右下の例を参考にして選びましょう。<br/>         Step3<br/>         ・それぞれのパートの役割を意識して, 全体のバランスに気をつけながら演奏しましょう。<br/> <b>Challenge!!</b><br/>         「アンサンブル」でも, パートの役割と全体の響きとの関わりを捉えて, 表現を工夫しながら演奏してみましょう。</p> | P. 53 |
| <p>○曲の構成<br/>         Step1<br/>         ・打楽器の入ったCDの演奏を聴いて, それぞれの部分の旋律の違いを確かめながら, 曲の構成を感じ取りましょう。<br/>         Step2<br/>         ・グループに分かれて, それぞれの部分に3～4パートからなるリズム伴奏を考えます。下のリズムパターンを組み合わせ, 曲の構成に合ったリズム伴奏を作りましょう。<br/>         Step3<br/>         それぞれのパートにふさわしい楽器を選んで, 打楽器の入っていないCDの演奏につくったリズム伴奏を加えて演奏しましょう。<br/> <b>Challenge!!</b><br/>         「テキーラ」に, つくったリズム伴奏を加えて演奏してみましょう。</p> | P. 55   |       |